2
基本機能

電話をかける（発信）

利用できるサービス

電波の届く場所であれば、以下の相手に電話をすることができます。

・警察.. 110
・消防・救急................................ 119
・海上保安庁................................ 118
・NTT災害伝言ダイヤル............ 171*[1]
・時報.. 117
・天気予報.................................... 177
・番号案内.................................... 104*[2]
・国際電話（ウィルコム国際電話サービス）*[3]
・ポケットベル呼び出し
・フリーダイヤル*[4]

*[1] 詳しくはNTT東日本／NTT西日本にお問い合わせください。
*[2] PHS電話番号はご案内できません。
*[3] 手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。「国際電話をかける」（ウィルコム国際電話サービス）(☞7-56ページ)
*[4]「携帯・PHS OK」または「PHS OK」が表示されている番号が対象です。

■警察、消防・救急、海上保安庁にかけるには

・移動しながらでは通話中に電話が切れてしまうことがあるので、いったん止まったうえで通報してください。
・PHSからの通報であることを伝えてください。
・通報後、警察、消防、海上保安庁から問い合わせの電話がくることがあるので、電源を切ったり移動したりしないでください。

利用できないサービス

・電報.. 115
・NTTテレホンセンター............ 116*[5]
・コレクトコール.......................... 106
・ダイヤルQ²
・ナビダイヤル
・衛星船舶電話

*[5] ウィルコムの電話から116へかけた場合、ウィルコムサービスセンターへつながります。

電話をかける

1 画面にアンテナが表示されていることを確認する

●「圏外」が表示されているときは
電波が届いていないため、ご利用になれません。アンテナの表示される場所へ移動しておかけください。

2 [0] ～ [9] でダイヤル ► [通話] または ◉

電話がかかります。番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前が表示されます。

● 一般電話にかけるには
市外局番からダイヤルしてください。電話番号は32桁までダイヤルできます。

● 番号を間違えたら
[クリア/マナー] を押すごとに最後の1桁が削除されるので、間違っている番号を削除し、正しい番号を入力しなおしてください。◎ でカーソルを削除したい箇所に移動し、[クリア/マナー] を押して削除することもできます。
◎のあと [クリア/マナー] を約1秒以上押すことで、カーソル以降の番号をすべて削除することもできます。

● 電話をかけずに待ち受け画面に戻るには
[PWR] を押します。

3 相手が出たら通話する

相手が電話に出ると画面左上に「通話中」、右下に通話時間が表示されます。

● つながらないときは
「ツーツーツー」と聞こえるときは、相手が話し中、電波が届かない場所にいる、回線が混雑しているなどの理由で電話をつなぐことができない状態にあります。そのようなときは、[PWR] を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけなおしてください。

● 通話中に音量を変えるには
音量は5段階で調節できます。◎ で現在の音量レベルが表示され、続けて ◎ を操作するごとに音量が変わります。

● 相手が出たことを振動で知らせるようにするには
相手が電話に出たことを電話機の振動でお知らせするように設定することもできます。「相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）」(☞2-47ページ)

4 通話が終了したら [PWR]

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

お知らせ

- [発信キー]を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約5秒経つか、[発信キー]または◉（発信）を押すと発信が行われます。
- ISDN回線で端末を指定するときに使用するサブアドレスは[＊キー]に続けて入力します。「サブアドレスを設定する」（☞7-12ページ）
- 通話時間の表示は目安です。通話料金の請求とは一致しないことがあります。
- サービスエリア内でも、屋内や車の中、ビルの谷間、地下街やトンネルの中などでは電波が弱くなるので、聞き取りにくかったり途切れたりすることがあります。
- 移動しながら通話していると、「ポポ　ポポ」と鳴ることがあります。これは通話中の公衆基地局より電波の強い公衆基地局へ回線が自動的に切り替わるハンドオーバの通知音です。ハンドオーバの際は一時的に通話が途切れることがありますが、故障ではありません。
- 移動中にサービスエリア外に出てしまうと通話が切れます。切れる直前に「ピーピー　ピーピー」という圏外警告音でお知らせするよう設定することもできます。「圏外／充電警告音を設定する（効果音）」（☞2-46ページ）
- 待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。「入力した電話番号を登録する」（☞2-31ページ）

より強い電波を探す（パワーサーチ）

いま検知している公衆基地局よりも電波の強い公衆基地局を探します。パワーサーチにより、さらに安定したクリアな通話ができます。

1　待ち受け時または通話時に[保留/文字キー]を約1秒以上押す

「パワーサーチ」という文字が点滅します。
公衆基地局が見つかると「パワーサーチOK!」と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 待ち受け時はパワーサーチに成功したときに成功音が鳴ります。
- 通話時は3回までパワーサーチを実行することができます。この場合、◉[＊キー]（パワーサーチ）を押して実行することもできます。
- パワーサーチを行っても状態が変わらないことがあります。
- パワーサーチを行っても、電波の状態が悪い場所などではうまく公衆基地局を探せず圏外になることもあります。
- パワーサーチは公衆モード、公衆／オフィスモード、公衆／グループモードでのみ行えます。

通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する

電話をかけるとき、電話番号の前に「184」を付けると相手に番号が通知されず、「186」を付けると番号が通知されます。これらの番号は以下の操作により自動的に入力することができます。

1　[0]～[9]で相手の電話番号を入力 ► [メニューキー] ► [2]または[3]

電話番号を通知しないときは[2]（184）、通知するときは[3]（186）を押してください。
「184」または「186」が電話番号の先頭に入力されます。

2　[発信キー]または◉

電話がかかります。

お知らせ

- 「184」「186」のどちらも付加しなかった場合は、番号通知の設定内容に従います。「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞6-2ページ）
- 本電話機の番号通知が「ON」に設定されていても、電話番号の先頭に「184」を入力して電話をかけると、相手には発信者番号が通知されません。また、番号通知が「OFF」に設定されていても、電話番号の先頭に「186」を入力して電話をかけると、相手に発信者番号が通知されます。
- 番号を通知した場合でも、発信者番号を表示する機能が相手の電話機にないときは発信者番号は表示されません。

記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）

電話をかけた相手や、発信者番号を通知してかけてきた相手の電話番号は、自動的に記録されます。記録されている内容を表示させて確認したり、電話をかけたりすることができます。また、通話中に入力した番号メモを使用して電話をかけることもできます。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ）」（☞2-11ページ）

電話帳から電話をかける方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）を参照してください。

記録される内容

種類	内容
発信履歴	本電話機からかけた電話の記録です。電話番号とかけた日時が 30 件まで記録されます。 発信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。 Lメール：ライトメールの発信「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-28 ページ） 分計：分計発信「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞ 7-57 ページ） 通録：未再生の通話録音が本体に保存されている「通話を録音する（通話録音）」（☞ 2-8 ページ） 通録：再生済みの通話録音が本体に保存されている
着信履歴	本電話機にかかってきた電話の記録です。発信者番号通知を設定している相手からの場合は、電話番号と日時が記録されます。発信者番号非通知の場合は電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「電話を受ける（着信）」（☞ 2-6 ページ） 着信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。 応答：電話に出た 不在：電話に出なかった 拒否：着信拒否の相手からの電話「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞ 6-4 ページ） Lメール：ライトメールの着信「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-28 ページ） 通録：未再生の通話録音が本体に保存されている「通話を録音する（通話録音）」（☞ 2-8 ページ） 通録：再生済みの通話録音が本体に保存されている 留録：未再生の留守録音が本体に保存されている「留守録音を設定する」（☞ 2-48 ページ） 留録：再生済みの留守録音が本体に保存されている
番号メモ	通話中に番号メモとして入力した電話番号です。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ）」（☞ 2-11 ページ）

お知らせ

- 発信履歴／着信履歴／番号メモの内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 発信履歴／着信履歴／番号メモのデータがそれぞれ30件を超えた場合は、最も古いデータから削除されます。
- 電話帳に登録してある電話番号の場合は、相手の名前も表示されます。ただし、シークレットが「ON」で電話帳に登録されている場合は「ユーザ非通知」と表示されます。また、電話帳ロックが「ON」の場合は、名前は表示されません。「電話帳に登録する」（☞ 2-28ページ）、「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞ 6-14ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号は、電話帳に登録することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞ 2-30ページ）

発信履歴／着信履歴／番号メモで電話をかける

発信履歴／着信履歴／番号メモを表示して、記録されている電話番号に電話をかけることができます。

1　待ち受け画面で ◎

◎ で発信履歴、◎ で着信履歴が表示されます。

2　◎ で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 ► ◎ で相手を選択 [通話]

表示されている相手に電話がかかります。

● **シークレットの電話番号を一時的に表示するには**

[メニュー]（メニュー）を押し、サブメニューで [8]（シークレット一時表示）を押します。暗証番号認証を行うと、シークレット設定が「ON」で登録されている電話番号が一時的に表示されます。

お知らせ

- 手順2で Ⓞ で相手を選択し、◉ を押すと、より詳しい情報が表示されます。
- 待ち受け画面に「着信　○○件」が表示されているときは、◉ を押して着信履歴を表示することもできます。
- 電話帳に登録してある相手の場合、登録してある電話番号を変更すると、履歴の表示が変更されます。
- 通話中も発信履歴／着信履歴／番号メモを参照することができます。

■リダイヤルする

待ち受け画面で [発信] を2回押すことで、前回かけた相手に電話をかけることができます。

発信履歴／着信履歴／番号メモの内容を削除する

発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号を1件ずつ削除します。全件をまとめて削除することもできます。

1　待ち受け画面で Ⓞ

Ⓞ で発信履歴、Ⓞ で着信履歴が表示されます。

2　Ⓞ で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 ► Ⓞ で削除するデータを選択

3　[メニュー][メニュー] ► [1] ～ [3] のいずれか

● **[1]（一件削除）を押すと**

選択した履歴1件だけを削除します。

● **[2]（選択削除）を押すと**

履歴選択画面が表示されるので、Ⓞ で削除する履歴を選択して ◉（チェック）を押します。履歴の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、[メニュー][1]（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、[メニュー][2]（全件解除）を押します。
削除するデータの選択を終えたら [削除]（削除）を押します。

● **[3]（全件削除）を押すと**

履歴の全データ（発信履歴／着信履歴／番号メモ）を削除します。

4　Ⓞ で「Yes」を選択 ◉

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

ポーズを利用する

発信する電話番号にポーズ（一時停止）を挿入することができます。ポーズを挿入すると、発信が一時的に停止しますが、[発信] を押すとポーズ以降の番号が発信されます。留守番電話の暗証番号の入力やプッシュホンサービスなど、途中でポーズが必要な場合にご利用ください。電話帳にポーズ入りで登録することもできます。

1　ダイヤルボタンで電話番号を入力 [メニュー][6] ► ダイヤルボタンで続きの番号を入力する

[6]（ポーズ）を押した場所に「P」が表示されます。

2　[発信] または ◉

電話番号の発信が行われます。「P」のところで発信は停止します。

3　[発信]

「P」以降の番号が発信されます。

お知らせ

- ポーズを入れたいところで、[留守録] を押してもポーズを挿入できます。
- 電話帳に電話番号を「P」付きで登録しておくと、電話帳からかけた電話でポーズを利用することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞2-30ページ）

電話を受ける（着信）

かかってきた電話を受けます。

1 着信音が鳴る

画面が点灯し、「着信中」と表示されます。相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合、名前も表示されます。
着信ランプの設定に従い、着信ランプが点滅します。「着信ランプを設定する」（☞7-10ページ）

- **着信中に着信音を止めるには（クイックサイレント）**
  着信を切断せずに着信音やバイブレータの振動を止めるには、（マナー）または を押します。この状態から着信を中断するには、（拒否）または を、通話を始めるには を押します。
- **留守録音で応答するには**
  または ◉（留守録）を押します。「留守録音を設定／解除する」（☞2-48ページ）

2 を押して通話

- **通話中に音量を変えるには**
  音量は5段階で調節できます。 で現在の音量レベルが表示され、続けて を操作するごとに音量が変わります。

3 通話が終わったら

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

お知らせ

- 画面に「圏外」が表示されているときは、電話を受けることはできません。
- 着信音は着信メロディの設定によって変更することができます。「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）
- 着信の通知方法をバイブレータに設定している場合は、電話がかかってきたことを振動によってお知らせします。「バイブレータを設定する」（☞2-42ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、 を押すほかに、、、、、 ～ 、、、 でも電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」（☞7-12ページ）

相手の発信者番号が通知されないとき

発信者番号が非通知の相手からの着信では、非通知理由が画面に表示されます。

非通知理由	意味
ユーザ非通知	相手が発信者番号非通知に設定しています。
公衆電話発信	相手が公衆電話から発信しています。
通知不可能	国際電話などで発信者番号が通知できません。

お知らせ

- 相手の発信者番号が非通知のときは、着信履歴には電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）

電話に出ないとき

電話に出なかったときは、待ち受け画面に「 」と「着信○○件」が表示されます。
「 」と「着信○○件」は着信履歴を確認すると消えます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞2-3ページ）

お知らせ

- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。ボタンを何か1つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」（☞7-11ページ）

通話中に電話がかかってきたとき（通信中着信）

「音声、PIAFS通信中着信」が「ON」の場合は、通話中に着信があると「プップッ　プップッ…」と鳴り、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。

音声着信（通常の電話）の場合→「着信がありました」
Eメール自動受信着信の場合→「センターにEメールがあります」
データ着信の場合→「データ着信がありました」
位置情報通知着信の場合→「位置情報通知着信がありました」

通話中着信のメッセージは ◉ で消すことができます。

通話を終了すると、通話中の着信の件数が「着信○○件」と表示されます。通話中の着信は、待ち受け画面では [icon] のマークが表示されます。

お知らせ

- ライトメールは、通話中は着信できません。
- 通話中に電話をかけてきた相手側には「ツーツーツー」という話し中の音が聞こえます。
- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。通話終了後、待ち受け画面でボタンを何か1つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」(☞7-11ページ)

通信中の着信を設定する

通信中の着信を受けるかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [6]

2 [5] [1] ► 着信を受けるときは [1]、受けないときは [2]

設定が変更され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

通話中の操作

通話中に受話音量（相手の声の音量）やスピーカ音量を変えることができます。音量は１～５の５段階で調節できます。

受話音量を調節する

1 通話中に ◎

現在の音量レベルが表示されます。

2 ◎ で音量を変更 ◉

音量は ◎ で大きくなり、◎ で小さくなります。約60秒以上操作をしないと、その時点の音量が設定され通話画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、音量は「VOL.4」に設定されています。
- 通話を終了しても、設定した受話音量は次に変更するまで変わりません。
- 待ち受け中に受話音量を設定することもできます。「受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）」（☞2-39ページ）
- 通話録音中は ◎ で受話音量を変えることもできますが、録音内容の音量は変わりません。
- スピーカでの受話については「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）」（☞2-10ページ）を参照してください。

通話を保留にする

通話を一時的に中断したいときに保留にします。保留中は、相手に保留音が流れ、こちらの音声は聞こえません。

1 通話中に 保留

「保留中」と表示され、設定している保留音が相手に流れます。

2 通話を再開するときは 保留 または 通話

お知らせ

- 通話中に ◉ 2（保留）で保留にすることもできます。また、保留中に ◉ 2（保留解除）で保留を解除することもできます。
- 保留音は、保留音設定によって変更することができます。「保留音を設定する」（☞2-46ページ）
- オフィスモードでは、オフィスシステム（PBX）の保留音が流れます。
- 保留は、グループモードではご利用いただけません。

通話を録音する（通話録音）

通話相手の声を録音できます（自分の声は録音されません）。録音内容は電源を切っても消えません。
１件の録音時間や、録音件数に制限はなく、メモリの空き容量一杯まで録音できます。ただし、保存先の空き容量が約３秒未満のときは、録音できません。

1 通話中に 留守録

録音が開始され、「録音時間／録音可能時間」（時：分：秒）が表示されます。

2 ◉

録音が終了し、「録音終了」と、「録音時間／録音可能時間」（時：分：秒）が表示されます。
通話が終了したときや保存先の空き容量がなくなったときも録音は終了します。

お知らせ

- 録音時間が約３秒未満だった場合は、その録音内容は保存されません。
- 通話中に ◉ 3（通話録音）で録音を開始することもできます。
- 録音の開始や終了の成功音は鳴りません。
- 録音中は充電警告音は鳴らず、「 」が表示されます。
- 録音中、◎ で受話音量を調節することもできますが、録音内容の音量は変化しません。
- 保存先の空き容量が足りなくなると、保存できなくなります。不要なデータは削除してください。「通話録音を削除する」（☞2-9ページ）、「データを削除する」（☞7-49ページ）

通話録音を再生する

■データフォルダから再生する

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 ◎で「録音」を選択 ◉ ► ◎で「通話録音」を選択 ◉

録音データ一覧が表示されます。再生されていない録音データは「」、再生済みの録音データは「」が表示されます。録音データ名は、相手の電話番号が使われます（番号非通知での着信の場合は、非通知理由が表示されます）。同じ電話番号が複数ある場合には、「相手の電話番号~連番」になります。電話帳に登録してある相手の場合は、登録名が表示されます。

3 ◎で再生する録音データを選択 ◉ ► ◉

録音データが再生されます。

- **再生を終了するには**

  再生中に ◉（一時停止）または クリア/マナー を押します。

- **再生中の録音データを削除するには**

  再生中に （削除）を押します。「削除しますか？」と表示されるので、「Yes」を選択して ◉ を押します。録音データが削除されます。他の録音データがある場合は次の録音データが再生され、録音データがない場合は元の画面に戻ります。

- **音量を調節するには**

  ◎：再生音量レベルが上がります。
  ◎：再生音量レベルが下がります。

- **スピーカから音を聞くには**

  再生中に （スピーカ）を押します。受話口（レシーバ）に切り替えるには （レシーバ）を押します。

お知らせ

- 録音データ一覧では、新しい順にデータが並んでいます。表示順序を変えることもできます。「データを並べ替える」（☞7-47ページ）
- 再生中に 保留/文字 を押すと前の録音が再生され、A/a留守録 を押すと次の録音データが再生されます。
- オートサイレントモードやマナーモードのときに再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して ◉ を押すと、再生が開始されます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている相手の場合は、通話録音のデータ名は「ユーザ非通知」になります。登録名を一時的に表示するには、（メニュー）を押し、サブメニューで 8（シークレット一時表示）を押します。暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。

■発信履歴／着信履歴から再生する

通話録音のデータは、発信履歴／着信履歴から再生することもできます。

1 待ち受け画面で ◎

◎で発信履歴、◎で着信履歴が表示されます。

2 ◎で「発信履歴」「着信履歴」のいずれかを選択 ► 7

3 ◎で履歴を選択 ◉ ► ◉

録音データが再生されます。

通話録音を削除する

1 待ち受け画面で ◉ 2

2 ◎で「録音」を選択 ◉ ► ◎で「通話録音」を選択 ◉ ► ◎で削除する録音データを選択

3   ► 1 〜 3 のいずれか

- **1（一件削除）を押すと**

  選択した録音データ1件だけを削除します。

- **2（選択削除）を押すと**

  録音データ選択画面が表示されるので、◎で削除する録音データを選択して ◉（チェック）を押します。録音データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
  全件選択する場合は、 1（全件選択）を押します。
  チェックをすべて外す場合は、 2（全件解除）を押します。
  削除するデータの選択を終えたら （削除）を押します。

- **3（全件削除）を押すと**

  「通話録音」フォルダ内の全データを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

4 ◎で「Yes」を選択 ◉

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「削除中」のメッセージが表示されているときに[PWR]を押すと、その時点までのデータが削除され、処理が中断します。
- 削除対象の録音データの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、設定データも含め選択したすべての録音メッセージが削除されます。
- フォルダ内のデータを一括して削除することもできます。「フォルダを削除する」(☞7-51ページ)

小声で話す（ひそひそ通話）

小声でも相手に声が伝わるよう、送話音量を大きくします。あわせて受話音量も大きくなります。

1 通話中に◉[4]

ひそひそ通話が開始され、「ひそひそ通話中」と表示されます。通話が終了すると、ひそひそ通話は解除されます。

● **通話中にひそひそ通話を解除するには**

◉（機能）を押し、[4]（ひそひそ通話解除）を押します。

お知らせ

- 最初からひそひそ通話になるよう設定することもできます。「ひそひそ通話を設定する(ひそひそ通話)」(☞2-39ページ)

手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）

ハンズフリー通話を利用すると、本電話機を手に持たずに話すことができます。また、スピーカ受話を利用すると相手の声をスピーカで聞くことができます。

ハンズフリー通話にする

ハンズフリー通話時は、本電話機を手に持たずに相手と通話することができます。相手の声は、本電話機背面のスピーカから聞こえます。

1 通話中に◉[9]

ハンズフリー通話が開始され、「H-Free通話中」と表示されます。

● **ハンズフリー通話を解除するには**

◉[9]を押します。

お知らせ

- ハウリング防止のため、ハンズフリー通話中は一方が話しているときはもう一方の声は音量が下げられ相手には聞こえません。相手が話し終えてから話すようにしてください。

スピーカ受話にする

相手の声を受話口（レシーバ）ではなく本電話機背面のスピーカで聞くことができます。こちら側の声は、相手に伝わりません。

1 通話中に◉[8]

スピーカでの受話に切り替わり、「スピーカ受話中」と表示されます。

● **スピーカ受話を解除するには**

◉（機能）を押し、[8]（スピーカ受話解除）を押します。

通話中に電話帳を検索する

通話中に電話帳を検索して電話番号など登録内容を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。電話帳の操作の詳細は「電話帳を利用する」(☞2-26ページ) を参照してください。

1 通話中に◉[1]

電話帳が表示されます。

● **登録内容の詳細を表示するには**

Ⓞで表示する相手を選択して◉を押します。

● **元の画面に戻すには**

[クリア/マナー]を2回押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中にスケジュールを確認する

通話中にスケジュールを表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。スケジュール機能の詳細は「スケジュール機能を利用する」(☞7-18ページ) を参照してください。

1 通話中に◉[7]

2 Ⓞでスケジュールを確認する日付を選択◉ ► Ⓞでスケジュールを選択◉

スケジュールの詳細が表示されます。

● **元の画面に戻すには**

[クリア/マナー]を3回押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中に電話番号をメモする（番号メモ）

通話中に32桁までの電話番号を30件までメモすることができます。

1 通話中に ◉ 5

2 ダイヤルボタンで電話番号を入力 ◉

番号メモが登録され、「登録しました」と表示されます。

● **登録しないで元の画面に戻すには**
◉ を押す前に （戻る）を押すと、番号メモは登録されずに通話中画面に戻ります。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、通話中画面に戻ります。

● **番号を削除するには**
クリア/マナー を押します。最後の数字が削除されます。入力中の番号メモをすべて削除するには、クリア/マナー を約1秒以上押したままにします。

● **ポーズを入力するには**
番号メモにポーズを入力するには、（ポーズ）または 留守録 を押します。ポーズを入力した箇所には「P」が表示されます。

お知らせ

- グループモードでは番号メモは利用できません。
- 30件を超えて登録すると、一番古いデータが1件削除され、新しいデータが登録されます。

通話中にメモ帳に入力する

通話中にメモ帳を表示したり入力したりすることができます。メモ帳の詳細は「メモ帳を利用する」（☞7-30ページ）を参照してください。

1 通話中に ◉ 6

2 ► 文字を入力 ◉

3 ファイル名を編集 ◉

メモが保存され、「登録しました」と表示されます。

● **既存のメモの内容を表示するには**
メモ帳一覧表示中に でメモを選択して ◉ を押します。

● **元の画面に戻すには**
クリア/マナー を押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 入力の途中で、何も操作せずに約60秒経過するか通話が切断された場合は、その時点で確定済みだった文字が自動的にメモ帳に登録されます。

通話中に自分の電話番号を確認する

通話中に本電話機の電話番号やEメールアドレスなどプロフィール情報を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。プロフィール機能の詳細は「プロフィールを表示する」（☞7-5ページ）を参照してください。

1 通話中に ◉ 0

プロフィールが表示されます。

● **各種情報を表示するには**
で表示させたい項目を選択します。

● **元の画面に戻すには**
クリア/マナー を押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中に電話番号を送出する

通話中に電話番号を送出することができます。

1 通話中に番号を入力

入力した番号が相手に送出されます。

電話帳から送出する

1 通話中に ◉ 1

2 相手先を検索する

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されますので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の6つの方法で検索できます。

● **あかさたな一覧で検索する**（☞2-32ページ）

● **グループ一覧で検索する**（☞2-32ページ）

● **メモリNo.一覧で検索する**（☞2-32ページ）

● **読み検索一覧で検索する**（☞2-33ページ）

● **電話番号で検索する**（☞2-33ページ）

● **メールアドレスで検索する**（☞2-33ページ）

3　相手先を選択 ◉

電話帳詳細画面が表示されます。
電話帳詳細画面通常表示および電話帳詳細画面一覧表示の説明については、「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31 ページ）の手順3を参照してください。

4　電話帳詳細画面通常表示中、◎ で発信する電話番号に対応する分類マークを選択

そのマークが設定されている電話番号が表示されます。

● 電話帳詳細画面一覧表示のときは

◎ で発信する電話番号に対応する分類マークを選択します。

5　◉ または [発信]

選択した電話番号が相手に送出されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、電話帳は「あかさたな一覧」で表示するように設定されています。
- 電話帳からの電話番号送出は、公衆モード、オフィスモードでのみ行えます。

発信履歴／着信履歴／番号メモから送出する

1　通話中に ◎

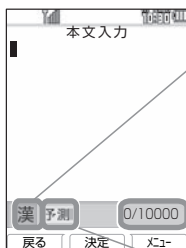
2　◎ で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 ► ◎ で相手を選択 ◉

3　◉ または [発信]

選択した電話番号が相手に送出されます。

文字を入力する

文字入力画面について

文字を入力する画面では、次の記号や数字が表示されます。

お知らせ

- 画面の右下に表示される「入力した文字数／入力できる文字数」は、半角文字の文字数で表示され、全角文字の場合は、１文字で半角文字２文字になります。

入力モードについて

電話帳に名前を入力するときやメールを書くときなど、文字を入力するときにはまず「入力モード」を選びます。ひらがな、カタカナ、英字（アルファベット）、数字といった文字の種類のうち、どの文字を入力するかを決めるのが入力モードです。入力モードは［保留/文字］で切り替えます。現在の入力モードは画面の左下に表示されます。

入力モード	入力できる文字
漢 漢字モード	ひらがな（あ　い　う　え　お）　漢字
ア カタカナモード（全角）	全角カタカナ（ア　イ　ウ　エ　オ）
ｱｲ カタカナモード（半角）	半角カタカナ（ｱｲｳｴｵ）
A 英字モード（全角）	全角英字（Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ）
AB 英字モード（半角）	半角英字（ABCDE）
1 数字モード	半角数字（１２３４５）

お知らせ

- 漢字は、漢字モードで入力したひらがなを変換して入力します。
- 全角と半角は、別の文字として扱われます。例えば全角カタカナの「ア」と半角カタカナの「ｱ」は別の文字になります。
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、Eメールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

入力する文字の種類を切り替える

入力する文字に応じて、入力モードを切り替えます。

1 文字を入力する画面で［保留/文字］ ► ［保留/文字］を押して入力モードを選択 ◉

入力モードが確定し、その入力モードの文字が入力できるようになります。◉を押さずにダイヤルボタンを押し、入力モードを確定するとともに文字入力を開始することもできます。選択中の入力モードの文字が入力されます。

● **◎で入力モードを選択するには**

文字入力モード選択画面では◎でも入力モードを選択できます。
◎で左の入力モード、◎で右の入力モードを選択できます。

お知らせ

- 記号や絵文字を入力することもできます。「記号や絵文字を入力する」（☞2-21ページ）
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、Eメールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）

ひらがなや漢字は漢字モードで入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞2-14ページ）を参照してください。
ひらがなは、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。
漢字は、読みをひらがなで入力してから漢字に変換して入力します。変換には、予測変換によって自動的に変換する方法と [変換]（変換）を押して変換する方法とがあります。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
[1]	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
[2]	か	き	く	け	こ					
[3]	さ	し	す	せ	そ					
[4]	た	ち	つ	て	と	っ				
[5]	な	に	ぬ	ね	の					
[6]	は	ひ	ふ	へ	ほ					
[7]	ま	み	む	め	も					
[8]	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
[9]	ら	り	る	れ	ろ					
[0]	わ	を	ん	ー	、	。	？	！	～	全角スペース
[#]	改行									
[*]	゛	゜								

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、[◎] でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「あい」と入力するときは、[1] を押して「あ」を入力し、[◎] でカーソルを右に移動してから [1] を2回押して「い」を入力します。
  ① [1] ………………「あ」が入力される
  ② [◎] ……………… カーソルが右に移動する
  ③ [1] [1] …………「い」が入力される
- [#] で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（か行、さ行、た行、は行）のあとに [*] を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（は行）のあとに [*] を2回押して入力します。
- 濁点や半濁点がつかない文字でも、つけることは可能です。文字を入力し、[◎] でカーソルを右に移動してから [*] を押して入力します。その場合、文字と濁点または半濁点はどちらも全角文字で入力されます。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょゎ」（小さいひらがな）は、大きい文字を入力したあと [A/a] または [*] を押して入力することもできます。
- 「つ」の場合、[*] を押すごとに「づ」→「っ」→「つ」となります。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに [クリア] を押すと、逆順に進みます。

予測変換を利用する（予測変換）

漢字モードで予測変換が「ON」の場合、その時点で入力が予測される文字列の一覧が表示されます。入力したい文字列が一覧にあるときは、それを選択するだけで文字列が入力できるので、文字入力の手間を大幅に減らすことができます。

1　漢字モードで文字を入力する

入力した文字から予測される予測候補の一覧が表示されます。
入力したい予測候補が表示されるまで文字を入力していきます。

2　で入力したい予測候補を選択

選択した候補が入力されます。

- **予測変換候補画面について**
  一覧の右上の数字は、選択した予測候補の番号と予測候補の総数です。
  で予測候補の先頭、で予測候補の末尾にカーソルが移動し、さらにでカーソルを上下左右に移動することができます。

お知らせ

- お買い上げ時には、予測変換は「ON」に設定されています。

■予測変換をON／OFFする

1　文字入力画面で

お知らせ

- 予測変換を「ON」にする場合も操作は同じです。

漢字に変換する（漢字変換）

予測変換が「OFF」の場合は予測候補が表示されないので、漢字を入力するにはひらがなを漢字に変換する操作が必要です。

1　ひらがなで読みを入力 ►　で変換

再度を押すと変換候補一覧が表示されます。

- **変換結果を確定するには**
  表示された変換候補でよければを押します。

2　で変換候補を選択

変換が確定し、文字が入力されます。

お知らせ

- 読みは最大で20文字まで入力できます。

変換の区切りを変更する

予測変換や漢字変換したときに意図しない位置で文字列が区切られ、正しく変換されないときは、変換の区切りを変更します。

1　文字を入力する ►　► 適切な区切りになるまでで変換の範囲を短くする

- **漢字変換のときは**
  文字を入力した後、を2回押します。その後、適切な区切りになるまでを押して、変換の範囲を短くします。
- **変換の範囲を広げるには**
  で変換の範囲を右に広げます。

2　で変換候補を選択

変換された部分が確定し、変換されていない部分が変換対象になります。残りの未変換部分についても同様な操作を繰り返して変換します。
変換が必要ない場合はを押して文字列を確定します。

ひらがなをカタカナや英数に変換する（カナ英数変換）

漢字モードで入力したひらがなをカタカナ、英字、数字に変換します。

1　ひらがなを入力する ►

入力したボタンに対応する英字や数字からなる候補が表示されます。例えば「あした」（1、3×2回、4）と入力したときは、数字「１３４」「134」、数字を時間形式にしたもの「１：３４」「1:34」、英字「.ＥＧ」「.EG」「.ｅｇ」「.eg」、カタカナ「アシタ」「ｱｼﾀ」が変換候補として表示されます。

2　で変換候補を選択

変換が確定し、文字が入力されます。

お知らせ

- カナ英数変換は予測変換が「ON」「OFF」のいずれの場合でも行えます。

よく使う語句をユーザ辞書に登録する

よく使う語句を読みと一緒にユーザ辞書に登録します。登録した語句は、予測変換や漢字変換により入力することができます。変換に手間のかかる語句を簡単な読みで登録しておくと、入力の手間が省けて便利です。
ユーザ辞書には最大250件までの語句を登録することができます。1件につき語句は全角15文字（半角30文字）まで、読みは全角8文字まで登録することができます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 4 1

登録済みの語句がある場合は、その語句と読みが表示されます。
DIC：登録されている単語や語句
ヨミ：登録されている単語や語句の読み

2　 ► 登録する単語や語句を入力 ◉ ► 登録する単語や語句の読みを入力 ◉

単語や語句が登録され、「登録しました」と表示されます。

- **文字入力画面から単語登録画面を表示するには**
  （メニュー）を押し、（次頁）を押し、7（ユーザ辞書登録）を押します。

■登録語句を変更する

登録した単語や語句、読みを変更することができます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 4 1

2　で変更する語句を選択 ◉ ► 必要に応じて語句を修正 ◉ ► 必要に応じて読みを修正 ◉

変更が登録され、「登録しました」と表示されます。

■登録語句を削除する

1　待ち受け画面で ◉ 5 4 1

2　で削除する語句を選択

3　 ► 1 ～ 3 のいずれか

- **1（一件削除）を押すと**
  選択した語句1件だけを削除します。
- **2（選択削除）を押すと**
  語句選択画面が表示されるので、で削除する語句を選択して ◉（チェック）を押します。語句の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
  全件選択する場合は、 1（全件選択）を押します。
  チェックをすべて外す場合は、 2（全件解除）を押します。
  削除するデータの選択を終えたら （削除）を押します。
- **3（全件削除）を押すと**
  登録語句の全データを削除します。

4　で「Yes」を選択 ◉

語句が削除され、「削除しました」と表示されます。

学習内容を削除する

本電話機は、予測変換や漢字変換での変換結果を記録し、次回からの変換時に変換候補として優先的に表示します。この学習内容を削除することができます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 4 3

2　暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

認証されると、「学習文字をクリアしますか？」と表示されます。

3　で「Yes」を選択 ◉

学習内容が削除され、「クリアしました」と表示されます。

カタカナを入力する（カタカナモード）

カタカナは、カタカナモード（全角）またはカタカナモード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞2-14ページ）を参照してください。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
2	カ	キ	ク	ケ	コ					
3	サ	シ	ス	セ	ソ					
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
7	マ	ミ	ム	メ	モ					
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
9	ラ	リ	ル	レ	ロ					
0	ワ	ヲ	ン	ー	、	。	？	！	～	全角※ スペース
#	改行									
*	゛	゜								

※カタカナモード（半角）の場合は、半角スペースが入力されます。

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、◎でカーソルを移動してからボタンを押します。例えば「アイ」と入力するときは、1を押して「ア」を入力し、◎でカーソルを移動してから1を2回押して「イ」を入力します。
- #で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（カ行、サ行、タ行、ハ行、「ウ」）のあとに*を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（ハ行）のあとに*を2回押して入力します。
- 濁点や半濁点がつかない文字でも、つけることは可能です。文字を入力し、◎でカーソルを右に移動してから*を押して入力します。全角カタカナモードの場合、文字と濁点または半濁点は、どちらも全角で入力されます。半角カタカナモードの場合は、いずれの場合も文字および濁点、半濁点は半角で入力されます。
- 「ァィゥェォッャュョヮ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあと A/a 留守録 または*を押して入力することもできます。ただし、小さい「ヮ」が入力できるのは全角の場合だけです。全角カタカナモードで「ウ」を入力した状態で、*を押すと濁点あり／なしの切替えとなります。小さいカタカナの「ゥ」を入力するには、全角カタカナモードで「ウ」を入力した状態で A/a 留守録 を押します。
- 「ツ」の場合、*を押すごとに「ヅ」→「ッ」→「ツ」となります。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとにクリアを押すと、逆順に進みます。
- 漢字モードの予測候補からカタカナの言葉を選択することで漢字モードでカタカナを入力することもできます。
- Eメールでは半角カタカナは入力できません。貼り付け、定型文からの入力などで半角カタカナを入力した場合は、半角のカタカナは切り捨てられます。

英字を入力する（英字モード）

英字（アルファベット）は、英字モード（全角）または英字モード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞2-14ページ）を参照してください。
各ダイヤルボタンで入力できる文字の最後にはそのボタンと同じ数字があるので、英字モードで数字を入力することもできます。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字										
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目
1	.	@	,	/	:	-	~	_	+	^	1
2	A	B	C	a	b	c	2				
3	D	E	F	d	e	f	3				
4	G	H	I	g	h	i	4				
5	J	K	L	j	k	l	5				
6	M	N	O	m	n	o	6				
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7		
8	T	U	V	t	u	v	8				
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9		
0	?	!	;	‘	0	スペース					
#	改行										
*	英字モード（半角）の場合は、Eメールのアドレス用の文字列（http://など）										

お知らせ

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、◎でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「AB」と入力するときは、2を押して「A」を入力し、◎でカーソルを右に移動してから2を2回押して「B」を入力します。
  ① 2………………「A」が入力される
  ② ◎ ………………カーソルが右に移動する
  ③ 2 2…………「B」が入力される
- # で改行が入力できるのは、プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳です。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに クリア を押すと、逆順に進みます。
- 英字モードが小文字の場合、表の網かけの文字は入力できません。「大文字と小文字を切り替える」（☞2-20ページ）

大文字と小文字を切り替える

英字モード（全角）と英字モード（半角）では、それぞれ大文字と小文字を切り替えることができます。

	大文字	小文字
英字モード（全角）	A ＡＢＣ…	a ａｂｃ…
英字モード（半角）	AB ABC…	ab abc…

1 英字モードで文字を入力する

最初は大文字で入力されます。

2 小文字にしたい文字を入力 ► [A/a]

カーソルの位置の文字が小文字に変わります。大文字に戻すには、もう一度[A/a]を押します。

● **入力前に大文字と小文字を切り替えるには**

文字を入力する前に[A/a]を押します。[A/a]を押すごとに、大文字と小文字が切り替わります。

アドレス文字を入力する

英字モード（半角）ではアドレス用の文字列を入力することができます。Eメールアドレスや Webのアドレス（URL）を入力するときに便利です。

1 英字モード（半角）で [*]

2 入力したいアドレス文字を選択 ◉

選択した文字が入力されます。

数字を入力する（数字モード）

数字を入力するときは、数字モードに切り替えます。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞2-14ページ）を参照してください。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字
[1]	1
[2]	2
[3]	3
[4]	4
[5]	5
[6]	6
[7]	7
[8]	8
[9]	9
[0]	0
[#]	#
[*]	*

● **「-」（ハイフン）を入力するには**

「-」を入力するときは、英字モードで[1]を6回押します。「英字を入力する（英字モード）」（☞2-19ページ）

改行を挿入する

プロフィールのメモ、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、電話帳のメモ、アクセサリのメモ帳では、文章に改行を入力することができます。

1 ◎で改行したい箇所にカーソルを移動 ► [#]

カーソルのあった箇所に改行が挿入されます。改行は「↲」で表されます。

お知らせ

- カーソルが文章の最後にあるときは◎で改行を挿入することもできます。

記号や絵文字を入力する

本電話機では記号や絵文字を入力することができます。記号や絵文字を入力できるのは、メールの本文や署名、ブックマークのタイトル、ページメモのタイトル、スケジュール、電話帳の名前、メモ帳、ユーザ辞書の単語、自作定型文などです。

1　文字入力画面で [キー] [1] または [2]

● **半角の記号しか入力できない場合は**
メールアドレスの入力画面など全角の文字が入力できない画面では、半角記号の選択画面のみ表示されます。

2　[キー]、[キー] で入力したい記号／絵文字のページを表示する

各一覧画面は、ページを切り替えていくことですべて表示することができます。[キー] で次のページ、[キー] で前のページを表示することができます。

● **記号一覧画面の切り替えについて**
半角記号１画面、全角記号８画面の順に表示されます。「記号･絵文字一覧」（☞A-2ページ）

● **絵文字一覧画面の切り替えについて**
Web入力用絵文字６画面、絵文字４画面の順に表示されます。「記号・絵文字一覧」（☞A-2ページ）

3　[十字キー] で記号／絵文字を選択 ◉

記号／絵文字が入力されます。

お知らせ

- ライトメールでは、アニメーション絵文字を使用することもできます。「アニメーション絵文字を添付する」（☞3-28ページ）
- Web入力用絵文字を使用してメールを送信した場合、相手の携帯電話によっては正しく表示されないことがあります。
- 絵文字は、対応しているウィルコムの電話機で使用できます。絵文字に対応していない機種や他社の電話機やパソコンなどにメールで送信すると、相手側で正しく表示されないことがあります。

定型文を引用する

文字入力画面では、定型文を呼び出して入力することができます。定型文には次の３種類があります。

- ･自作定型文（自分で登録した定型文）
- ･顔文字（記号を組み合わせて表情を表した文字列）
- ･アドレス文字（Eメールアドレスや Webのアドレスで使われる文字列）

自作定型文を引用する

1　文字入力画面で [キー] [6] [1]

自分で登録した定型文の一覧が表示されます。「自作定型文を登録／編集する」（☞2-22ページ）

● **詳細を表示するには**
自作定型文の一覧には、全角換算で最初の10文字までしか表示されません。11文字以上の長さの定型文の全体を表示するには [キー]（詳細）を押します。

2　引用したい自作定型文を選択 ◉

お知らせ

- 定型文が１件も登録されていないときは、自作定型文を引用することができません。

定型文から顔文字を引用する

記号を組み合わせて表情を表す顔文字が60件登録されています。顔文字は次の手順で入力します。

1　文字入力画面で [キー] [6] [2]

2　[保留/文字]、[A/a/留守録] を押して、入力する顔文字のページを表示する

顔文字の一覧は５ページにわたっています。[保留/文字] で前のページ、[A/a/留守録] で次のページが表示されるので、入力する顔文字のあるページを表示させてください。

3　[十字キー] で顔文字を選択 ◉

定型文からアドレス文字を引用する

Eメールアドレスや Webのアドレスでよく使われるアドレス文字が定型文に収録されています。これは英字モード（半角）で [*] を押して入力できるアドレス文字と同じものです。「アドレス文字を入力する」（☞2-20ページ）

1　文字入力画面で [キー] [6] [3]

2　引用したいアドレス文字を選択 ◉

自作定型文を登録／編集する

メールなどでよく使う文章を自作定型文として登録しておくと、入力の手間を省くことができます。自作定型文は12件まで、1件につき全角50文字（半角100文字）まで登録できます。

「自作定型文を引用する」（☞2-21ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 自作定型文を登録する番号を選択 ◉ ► 自作定型文を入力／編集 ► ◉

自作定型文が保存され、「登録しました」と表示されます。

- **新規に登録するには**
  自作定型文一覧画面で、未登録の番号を選択して ◉ を押します。
- **登録済みの自作定型文を編集するには**
  自作定型文一覧画面で、登録済みの番号を選択して ◉ を押し、［編集］（編集）を押します。

■入力画面の文章を自作定型文に登録する

メールの本文など、文字入力画面で入力した文章をコピーして自作定型文に登録することができます。

1 登録する文章を文字入力画面で入力 ► ［メニュー］［メニュー］3

2 ◎ で登録する文章の先頭にカーソルを移動 ◉ ► ◎ で登録する文章の最後にカーソルを移動 ◉

3 自作定型文を登録する番号のダイヤルボタンを押すか、◎ で登録箇所を選択 ◉

- **既存の自作定型文に上書きするには**
  すでに自作定型文の登録されている番号を選択すると、元の定型文を削除し、新しい定型文を上書きするかどうか確認する画面が表示されます。上書きしてよければ ◎ で「Yes」を選択し、◉ を押します。

自作定型文を削除する

■1件だけ削除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 ◎ で削除する自作定型文を選択 ► ［メニュー］1

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

■選択して削除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 ［メニュー］2 ► 削除する自作定型文を選択 ► ［削除］

- **1件ずつ選択するには**
  ◎ で削除する自作定型文を選択し、◉（チェック）を押します。自作定型文の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
- **全件選択するには**
  ［メニュー］（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべての自作定型文の先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、［メニュー］（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

■全件削除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 4 2

2 ［メニュー］3

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

文字サイズを変更する

文字を入力する画面では文字の表示サイズを3段階から選択することができます。

1 文字入力画面で ［メニュー］［メニュー］4

2 文字サイズを選択 ◉

お知らせ

- お買い上げ時は「20dot」に設定されています。
- 「dot」は、文字を構成する点のことです。16dot、20dot、30dotの順に大きくなります。
- 画面に表示できる最大行数は、16dotのときは12行、20dotのときは10行、30dotのときは7行です。
- ブラウザについては、それぞれの機能で設定された文字サイズになります。

文章を編集する

文章の途中に文字を挿入する

文字を入力する画面で、入力済みの文章の途中に文字を挿入することができます。

1 で文字を入力したい箇所にカーソルを移動 ► 文字を入力する

カーソルの位置に文字が挿入され、カーソル以降の部分は入力した文字数分だけ後ろにずれます。

文字を削除する

1 で削除したい文字にカーソルを移動 ► クリア/マナー

カーソルのあった箇所の文字が削除されます。カーソルが文章の最後尾にあるときはカーソルの前の文字が削除されます。

- **文章をまとめて削除するには**
  でカーソルを文章の先頭または最後尾に移動し、約1秒以上 クリア/マナー を押します。文章全体が削除されます。カーソルが文章の途中にある場合は、カーソル以降だけが削除されます。

文章をコピー／貼り付けする

文章をコピーします。コピーした文章は電源を切っても記録されており、必要なときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。コピーできる文章は、全角2048文字（半角4096文字）までです。

■文章をコピー／カットする

編集中の文章をコピー／カットします。コピーの場合は元の文章はそのまま残りますが、カットの場合は元の文章は残りません。受信メール、送信メールの内容をコピーすることもできます。「メール本文の文字をコピーする」（☞3-18ページ）

1 文字入力画面で ► 3 または 4

2 でコピー／カットする文章の先頭にカーソルを移動 ◉ ► でコピー／カットする文章の最後にカーソルを移動 ◉

選択した範囲の文章が本電話機内に記録され、いつでも貼り付けられる状態になります。
コピーの場合は選択した範囲の文章はそのまま残りますが、カットの場合は削除されます。

■文章を貼り付ける

1 文字入力画面で でコピー／カットした文章を貼り付けたい箇所にカーソルを移動 ► 5

カーソル位置の文字の前に、コピー／カットした文章が挿入されます。

お知らせ

- 文字列がコピーされていないときは使用できません。
- その画面で入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字列だけが貼り付けられます。
- 半角文字しか入力できない画面で全角のカタカナ、英字、数字を貼り付けると、半角文字に変換されて貼り付けられます。
- その画面に入力できる文字数よりも貼り付ける文章の文字数が多い場合は、エラー音が鳴り、入力できる文字数分までが貼り付けられます。

電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する

文字入力画面では、電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳に登録してある情報を引用して入力することができます。

■電話帳から引用する

1 文字入力画面で で引用先の箇所にカーソルを移動 ► 7

2 で引用する対象の人を選択 ◉ ► で引用する項目を選択 ◉

カーソルの位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。
電話帳の検索方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞2-31ページ）を参照してください。

お知らせ

- 引用対象は、名前、電話番号、メールアドレス、メモとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。

■ブックマークから引用する

1 文字入力画面で で引用先の箇所にカーソルを移動 ► 8

2 でフォルダを選択 ◉ ► で引用するブックマークを選択 ◉

カーソルの位置の前に、ブックマークのアドレスが挿入されます。

お知らせ

- 半角の英字、数字、記号のいずれも入力できない画面では、ブックマーク引用は選択できません。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。

■プロフィール／メモ帳から引用する

1　文字入力画面で◎で引用先の箇所にカーソルを移動 ► ［…］［…］

2　［1］または［2］

3　◎で引用する項目を選択 ◉

カーソル位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。

お知らせ

- プロフィールの引用対象は、名前、電話番号、オフィス番号、メールアドレス、メモとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。
- メモ帳からの引用では、手順3で［…］（詳細）を押すと、メモの詳細が表示されます。

ポケベル方式で入力する

ポケットベルと同様の方法で文字を入力することができます。

ポケベル方式に切り替える

1　文字入力画面で［…］［…］［6］［2］

● **かな入力に戻すには**

お買い上げ時の入力方法である「かな入力」に戻すには、［1］（かな入力）を押します。

ポケベル方式で入力する

1　［保留/文字］を押して入力モードを選択 ◉

大文字と小文字の切り替えは、文字入力画面で、［A/a］を押します。
ポケベル入力には次の入力モードがあり、［保留/文字］で選択することができます。

P：全角大文字モード
p：全角小文字モード
PB：半角大文字モード
pb：半角小文字モード

2　ダイヤルボタンで文字を入力する

ダイヤルボタンを2回押すことで文字を指定します。

＜全角モードの場合＞

		2回目に押すボタン									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回目に押すボタン	1	あ	い	う	え	お	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ
	2	か	き	く	け	こ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ
	3	さ	し	す	せ	そ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
	4	た	ち	つ	て	と	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ
	5	な	に	ぬ	ね	の	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Ｚ	？	！	－	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆	スペース	☎	、
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	改行	♥	。
	9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
	0	わ	を	ん	゛	゜	６	７	８	９	０

＜半角モードの場合＞

		2回目に押すボタン									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回目に押すボタン	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&	ｽﾍﾟｰｽ		､
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	改行		｡
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

お知らせ

- [#] を押して改行することもできます。
- [*] を押して濁点や半濁点を入力することはできません。
- アルファベットの大文字と小文字は [A/a 留守録] で切り替えます。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょゎ」（小さいひらがな）と「ァィゥェォッャュョヮ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあと [A/a 留守録] を押して変換します。

電話帳を利用する

よく電話をかける相手の電話番号などを、電話帳に登録しておくことができます。登録件数は最大で1000件です。
電話帳には、次の項目を登録できます。

名 名前、カナ フリガナ

発信者番号を通知している相手から電話がかかってきたときに、その電話番号が電話帳に登録されていると、相手の名前がディスプレイに表示されます（着信者表示機能）。

Gr グループ

ビジネスや友人など、電話帳に登録するデータを10グループに分類して管理できます。

電話番号　および分類マーク

電話帳１件の登録につき、３つの電話番号が登録できます。また、PHSや会社の電話など、相手の電話番号にマークを付けて分類できます。お気に入りのお店などにも、種類に応じてマークを付けることができます。マークは次の10種類です。

①：電話番号
②：携帯電話
③ PHS：PHS
④：自宅
⑤：会社
⑥ Fax：FAX
⑦：ショップ
⑧：レストラン
⑨：病院
⑩ Tel：その他

@ メールアドレス　および分類マーク

電話帳１件の登録につき､３つのメールアドレスが登録できます。また､携帯電話や会社PCなど､相手のメールアドレスにマークを付けて分類できます。マークは次の５種類です。

① @：指定なし
②：携帯電話
③：PHS
④：自宅PC
⑤：会社PC

メモ

住所や誕生日など、相手に関する情報を登録しておくことができます。全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

画像

特定の電話帳データに画像登録をしておくと、着信時に登録した画像が表示され、だれから電話がかかってきたのかを知ることができます。この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

短 短縮番号

よく電話をかける相手をメモリNo.000 ～ 009の短縮番号に設定しておくと、短縮番号の下１桁を押すだけで簡単に電話をかけることができます。

シークレット

電話帳データのシークレット設定を「ON」にすると、そのデータが電話帳に表示されなくなります。通常の発信時や着信時の画面にも名前が表示されません。また､シークレット設定を｢ON｣にして登録した相手に電話をかけても、発信履歴には名前が残りません。
シークレットデータを表示するには、暗証番号による認証が必要になります。

指定電話、Eメール、ライトメールの着信音

特定の電話帳データに着信音を登録しておくと、着信時の呼び出し音の種類でだれからの電話、Eメール、ライトメールなのかを知ることができます。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

指定電話、Eメール、ライトメールの着信イルミネーション

特定の電話帳データに着信イルミネーションを登録しておくと、着信時のイルミネーションの種類でだれからの電話、Eメール、ライトメールなのかを知ることができます。イルミネーションは8種類あります。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

お知らせ

- 登録した内容は、故障、修理の際、または静電気や電気的ノイズの影響などで消えてしまうことがあります。大切な内容は必ず、メモや住所録に控えておいてください。

電話帳に登録する

電話帳を新規登録する

1 待ち受け画面で ◉ 6 2

2 ◎ で入力する項目を選択 ◉

選択した項目の編集画面が表示されます。
どの項目からでも入力できますが、名前、フリガナ、電話番号またはメールアドレスの最低3項目を入力しないと電話帳に登録できません。
次の項目が入力・設定できます。

- **名 ｶﾅ 名前とフリガナを入力する（☞同じページ内です。）**
- **Gr グループを選択する（☞同じページ内です。）**
- **☎ 電話番号と分類マークを入力する（☞ 2-29ページ）**
- **@ メールアドレスと分類マークを入力する（☞ 2-29ページ）**
- **メモを入力する（☞ 2-29ページ）**
- **電話の着信時に表示される画像を設定する（☞ 2-29ページ）**
- **短 短縮番号を設定する（☞ 2-29ページ）**
- **シークレットを設定する（☞ 2-30ページ）**
- **電話やメールの着信音を選択する（☞ 2-30ページ）**
- **電話やメールの着信イルミネーションを選択する（☞ 2-30ページ）**

3 必要に応じて手順2を繰り返し、各項目を入力・設定 ► ✓

メモリNo.の登録画面が表示されます。ただし「短縮設定」を「ON」にしている場合は、登録画面は表示されずに登録が完了します。

4 0 ～ 9 でメモリNo.を入力 ◉

メモリNo.は、「010」～「999」の3桁の数字を入力します。
データが登録され、「メモリNo.○○○に登録しました」と表示されます。

- **自動でメモリNo.を登録するとき**

  メモリNo.を入力せずに ◉ を押します。メモリNo.010以降の、空いている一番小さいメモリNo.に登録されます。

- **すでに登録済みのメモリNo.を入力したとき**

  「○○○に上書きしますか？」のメッセージが表示されます。上書きをしてよいときは、◎ で「Yes」を選択して ◉ を押します。「No」を選択したときは、もう一度 0 ～ 9 でメモリNo.を入力します。

お知らせ

- 表示方法が「あかさたな一覧」、「グループ一覧」の場合は、待ち受け画面から ◎ で電話帳一覧を表示し、✓（新規）を押しても、電話帳の新規登録画面が表示されます。
- 電話帳ロック、管理者ロックの発信制限・着信制限が設定されているときには、電話帳登録はできません。
- 他の人に電話帳を利用されたくないときは、電話帳ロックを設定します。電話帳ロックを設定しておくと、暗証番号による認証を行わないと、電話帳機能が使えなくなります。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞ 6-14ページ）
- 登録件数がいっぱいのときは、電話帳に登録できません。まず、電話帳から不要なデータを削除してください。「電話帳の内容を削除する」（☞ 2-33ページ）

■名前とフリガナを入力する

名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角で32文字まで入力できます。

1 名前を入力 ◉ ► ◉

名前を入力して ◉ を押すと、自動的に入力した読み（フリガナ）が表示されます。その読みのままでよければ ◉ を押します。名前とフリガナが表示された電話帳登録画面に戻ります。

- **文字の入力方法について**

  「文字を入力する」（☞ 2-13ページ）

- **フリガナを修正するには**

  ◎ で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリア/マナー で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」（☞ 2-13ページ）

お知らせ

- フリガナに空白は入力できません。名前に空白を入力しても、フリガナでは空白が削除されて表示されます。

■グループを選択する

グループを選択しなかった電話帳データは、「グループ0」に登録されます。
グループ名を変更することもできます。「グループ名を変更する」（☞ 2-34ページ）

1 登録するグループを選択 ◉

選択したグループが表示された電話帳登録画面に戻ります。

■電話番号と分類マークを入力する

電話帳1件につき、電話番号を最大3件まで登録できます。電話番号は32桁まで入力できます。

1　0 〜 9 で電話番号を入力 ◉

● **電話番号を修正するには**

◎ で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリア/マナー で消去してから、0 〜 9 で正しい番号を入力します。

2　登録する分類マークを選択 ◉

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力した電話番号が電話番号1として表示されます。また、電話番号2を入力するための項目が追加されます。

● **分類マークを指定しないときは**

0（Tel その他）を押します。

● **電話番号2、3を登録するには**

電話帳登録画面で、追加表示された電話番号の項目を選択してから、手順1〜2を繰り返します。

お知らせ

- 手順1で「070」から始まる電話番号を入力した場合は、手順2で「PHS PHS」が自動的に選択されます。
- 手順1で「090」や「080」から始まる電話番号を入力した場合は、手順2で「携帯電話」が自動的に選択されます。

■メールアドレスと分類マークを入力する

電話帳1件につき、メールアドレスを最大3件まで登録できます。また、メールアドレスは半角64文字まで入力できます。

1　メールアドレスを入力 ◉

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

2　登録する分類マークを選択 ◉

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力したメールアドレスがメールアドレス1として表示されます。また、メールアドレス2を入力するための項目が追加されます。

● **分類マークを指定しないときは**

1（@ 指定なし）を押します。

● **メールアドレス2、3を登録するには**

電話帳登録画面で、追加表示されたメールアドレスの項目を選択してから、手順1〜2を繰り返します。

■メモを入力する

メモは全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

1　メモを入力 ◉

メモが表示された電話帳登録画面に戻ります。

● **文字の入力方法について**

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

■電話の着信時に表示される画像を設定する

画像を設定すると、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときに、ここで指定した画像が表示されます。設定できるのは、データフォルダ内に保存されている画像です。

1　1 または 2

● **1（設定なし）を押したときは**

画像の設定が解除されます。

● **2（データフォルダ）を押したときは**

◎ でフォルダを選択後 ◉ を押し、◎ で画像データを選択して ◉ を押します。「画像データを表示する」（☞7-40ページ）

お知らせ

- 画像の一覧画面で ⌐（一覧）を押すと、画像名の一覧に切り替わります。もう一度 ⌐（サムネイル）を押すと、画像の一覧表示に戻ります。
- 画像の一覧画面で、◎ で画像を選択して ⌐（表示）を押すと、選択中の画像が大きく表示されます。◎ で前後の画像を表示することもできます。クリア/マナー を押すと画像の一覧に戻ります。

■短縮番号を設定する

短縮番号は、メモリNo.000〜009の10件まで設定できます。短縮番号を設定した相手先には、メモリNo.の下1桁を入力するだけで簡単に電話をかけることができます。

1　1 ► ◎ で短縮番号を選択 ◉

短縮番号が表示された電話帳登録画面に戻ります。

● **短縮番号を解除するには**

短縮番号設定時に 2（OFF）を押します。

● **短縮番号が10件登録されているときは**

短縮番号を設定できません。クリア/マナー または 2 を押して、電話帳登録画面に戻ります。

■シークレットを設定する

特に他人に知られたくない電話帳のデータを、シークレットに設定しておくことができます。この設定をしておくと、暗証番号による認証を行わないと、電話帳にデータが表示されません。「シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）」（☞2-35ページ）

1 [1]

シークレットが設定された電話帳登録画面に戻ります。

● **シークレットの設定を解除するには**

[2]（OFF）を押します。

お知らせ

- シークレットを「ON」に設定した相手から電話がかかってきた場合、相手の名前は表示されず、電話番号だけが表示されます。
- シークレットを「ON」に設定してある相手先からの発信や着信があった場合、発信履歴には相手の電話番号が、着信履歴には「ユーザ非通知」と表示されます。相手の名前は表示されません。

■電話やメールの着信音を選択する

指定着信音を設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。また、Eメールやライトメールの着信音を登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。

1 [1]～[3]**のいずれか**

● **[1]（設定なし）を押したときは**

着信音の設定が解除されます。

● **[2]（固定サウンド）を押したときは**

本電話機に初めから用意されているパターンやメロディの一覧が表示されます。◎で着信音を選択して◉を押します。

● **[3]（データフォルダ）を押したときは**

◎でフォルダを選択し、◎で着信音を選択して◉を押します。「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）

お知らせ

- 着信音を選択して[・]（再生）を押すと、選択した着信音が再生されます。
- 着信音の再生中に[留守録]を押すと、サウンド一覧での次のメロディが再生され、[保留]を押すとひとつ前のメロディが再生されます。

■電話やメールの着信イルミネーションを選択する

指定イルミネーションを設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。また、Eメールやライトメールのイルミネーションを登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。

1 イルミネーションを選択◉

イルミネーション名が表示された電話帳登録画面に戻ります。

● **イルミネーションを確認するには**

◎でイルミネーションを選択すると、そのイルミネーションが点滅します。

● **イルミネーションの設定を解除するには**

[1]（設定なし）を押します。

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を、電話帳に登録することができます。登録方法には、名前を新しく入力して登録する「新規登録」と、すでに登録されている電話帳に追加して登録する「追加登録」があります。

1 待ち受け画面で◎ ►必要に応じて、◎で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える

2 ◎で登録する電話番号を選択[・] ►[1]または[2]

● **[1]（新規登録）を押すと**

「新規登録する」（☞同じページ内です。）に進みます。

● **[2]（追加登録）を押すと**

「追加登録する」（☞2-31ページ）に進みます。

■新規登録する

[1]（新規登録）を押したときは、電話番号の分類マークを選択する画面が表示されます。

1 登録する分類マークを選択◉

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

2 他の項目を入力し、電話帳を登録する

「電話帳を新規登録する」（☞2-28ページ）

■追加登録する

[2]（追加登録）を押したときは、電話帳の一覧画面が、前回使用したときと同じ形式で表示されます。「電話帳を使って電話をかける」（☞同じページ内です。）

1　で登録先の名前を選択 ◉

2　で電話番号が登録されていない項目を選択 ◉ ► 登録する分類マークを選択 ◉

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

3　必要に応じて他の項目を入力し、電話帳を登録する

お知らせ

- 登録済みの電話番号に上書きするときは、手順2で上書きする電話番号を選択して ◉ を押してください。「上書きしますか？」と表示されるので、で「Yes」を選択して ◉ を押します。

入力した電話番号を登録する

待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。

1　待ち受け画面で、電話帳に登録する電話番号を入力 ►

2　[1] または [2] を押す

- **[1]（新規登録）を押すと**
  「新規登録する」（☞2-30ページ）に進みます。
- **[2]（追加登録）を押すと**
  「追加登録する」（☞同じページ内です。）に進みます。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録してあるデータは、名前のフリガナの50音順･グループ･メモリNo.･名前の読み･電話番号・メールアドレスで検索して呼び出すことができます。この呼び出した電話帳データを使って、電話をかけられます。

1　待ち受け画面で ◉ [6] [1]

電話帳の一覧画面が表示されます。でも、同じ操作ができます。ただし、電話帳に1件もデータが登録されていない場合は、電話帳登録画面が表示されます。「電話帳に登録する」（☞2-28ページ）

2　相手先を検索する

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されるので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の6つの方法で検索できます。

- **あかさたな一覧で検索する（☞2-32ページ）**
- **グループ一覧で検索する（☞2-32ページ）**
- **メモリNo.一覧で検索する（☞2-32ページ）**
- **読み検索一覧で検索する（☞2-33ページ）**
- **電話番号で検索する（☞2-33ページ）**
- **メールアドレスで検索する（☞2-33ページ）**

3　相手先を選択 ◉

電話帳詳細画面が表示されます。

- **電話帳詳細画面の表示方法を切り替えるには**
  電話帳詳細画面を通常表示と一覧表示に切り替えることができます。
  電話帳詳細画面で（メニュー）を押し、[1]（表示切替）を押すと電話帳詳細画面の表示方法が切り替わります。
- **登録内容を確認するには**
  電話帳詳細画面通常表示は、電話帳詳細画面一覧表示はで分類マークを選択することができます。電話帳詳細画面通常表示の場合、その項目の登録内容が画面の下側に表示されます。の場合は、選択して ◉（確認）を押すとメモ帳の画面にメモの内容が表示されます。の場合は、選択して ◉（確認）を押すと、個別設定画面に着信音と着信イルミネーションの設定が表示されます。
- **前後のデータを表示するには**
  電話帳詳細画面通常表示でを押すと前のデータ、を押すと次のデータが表示されます。
  電話帳詳細画面一覧表示でを押すと前のデータ、を押すと次のデータが表示されます。

4　電話帳詳細画面通常表示中、で発信する電話番号に対応する分類マークを選択

そのマークが設定されている電話番号が表示されます。

● **電話帳詳細画面一覧表示のときは**
Ⓞ で発信する電話番号に対応する分類マークを選択します。

5 ◉ または [発信]

選択した電話番号に電話がかかります。

お知らせ

- お買い上げ時には、電話帳は「あかさたな一覧」で表示するよう設定されています。
- 手順2で [発信] を押しても、相手に電話をかけることができます。電話番号が2つ以上登録されているときは、電話番号1に電話がかかります。
- オフィスモードのときには、手順4の後で [Web] を押すと、登録した外線発信番号が先頭に付加されます。もう一度 [Web] を押すと、外線発信番号は消えます。
- 手順4の後でダイヤルボタンを押すと、選択した電話番号の前にダイヤルボタンの番号が付加されます。[*] または [#] を押すと、後ろに付加されます。また、[留守録] を2回押すと、P（ポーズ）が付加されます。その状態で [登録]（登録）を押して電話番号を新規登録または追加登録することもできます。登録手順は発信履歴などの電話番号を登録する場合と同じです。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞2-30ページ）
- 手順4の後で [メニュー]（メニュー）を押し、[4]（184発信）または [5]（186発信）を押すと、電話番号に「184」または「186」が付加されて発信されます。「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」（☞2-3ページ）
- 待受モードが「公衆＋オフィス」に設定されている場合は、手順4で番号を選択して [メール] を押すと、その発信に限り現在の優先発信モードを切り替えて発信できます。「発信するモードを一時的に切り替える」（☞8-5ページ）

あかさたな一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で [メニュー] [1] [1]

2 表示する行を切り替え ► Ⓞ で相手先を選択

行を切り替えるには、Ⓞ による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

● **ダイヤルボタンで切り替えるには**
ダイヤルボタンに書かれているひらがなが、50音の行に対応しています。例えば [3] を押すと「さ」行が表示されます。[#] を押すと「あ」～「わ」行以外の名前が表示されます。

■待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法があかさたな一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれているひらがなに対応した行が表示されます。
例えば待ち受け画面で [3] を約1秒以上押すと、「さ」行の電話帳が表示されます。

お知らせ

- あかさたな一覧画面で、行に対応するダイヤルボタンを繰り返し押すと、名前の読みの最初の文字単位で選択位置が移動します。例えば「さ」行が表示されているときは、[3] を押すたびに、読みが「さ」→「し」→「す」→「せ」→「そ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

グループ一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で [メニュー] [1] [2]

2 Ⓞ で表示するグループを切り替え ► Ⓞ で相手先を選択

■待ち受け画面から直接、目的のグループを表示させる

電話帳の表示方法がグループ一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したグループが表示されます。
例えば待ち受け画面で [3] を約1秒以上押すと、「グループ3」の電話帳が表示されます。

お知らせ

- グループ一覧画面でダイヤルボタンを押すと、表示しているグループ内で、ダイヤルボタンに書かれているひらがなで始まる名前に選択位置が移動します。例えば [3] を押すと、読みが「さ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

メモリNo.一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で [メニュー] [1] [3]

2 検索するメモリNo.を入力 ◉

● **上1桁を入力したとき**
例えば「3」と入力すると、No.300～309の電話帳データが表示されます。表示は10件単位となります。

● 上2桁を入力したとき
例えば「31」と入力すると、No.310～319の電話帳データが表示されます。表示は10件単位となります。

● メモリNo.を入力しなかったとき
「短縮(000)」から、10件単位で電話帳データが表示されます。

3 必要に応じて、表示するメモリNo.の範囲を切り替え ► ◎で相手先を選択

メモリNo.の範囲を切り替えるには、◎による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

● ダイヤルボタンで切り替えるには
ダイヤルボタンに書かれている数字が、メモリNo.の上1桁に対応しています。例えば 0 を1回押すと、「短縮」(No.000～010)の電話帳データが表示されます。0 を押すたびに、表示される範囲がNo.010～019、No.020～029のように10件単位で切り替わります。

■待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法がメモリNo.一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したメモリNo.が表示されます。例えば 3 を約1秒以上押すと、No.300～309の電話帳データが表示されます。

お知らせ

- 入力したメモリNo.に対応するデータが1件も登録されていない場合は、入力したメモリNo.以降で、最もメモリNo.の小さいデータが表示されます。

読み検索一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で ✉ 1 4

2 名前の読みを入力 ◉ ► 相手先を選択

読みは、すべてを入力しなくても構いません。最初の文字だけを入力すれば、その読みで始まる名前がすべて検索されます。

「あかさたな一覧で検索する」(☞2-32ページ)

電話番号で検索する

局番など、電話番号の一部で電話帳データを検索することができます。

1 電話帳の一覧画面で ✉ 2 ► 番号を入力 ◉

番号は5桁まで入力できます。

2 ◎で相手先を選択

メールアドレスで検索する

メールアカウント(@より前)やドメイン名(@より後)など、メールアドレスの一部で電話帳データを検索することができます。

1 電話帳の一覧画面で ✉ 3 ► アドレスを入力 ◉

アドレスは半角で10文字まで入力できます。

2 ◎で相手先を選択

短縮番号で電話をかける

短縮番号(メモリNo.000～009)に登録した相手先には、メモリNo.の下1桁を入力するだけで、簡単に電話をかけることができます。電話番号が複数登録されているときは、電話番号1にかかります。

1 待ち受け画面で、0 ～ 9 でメモリNo.の下1桁を入力 ► 📞 または ◉

お知らせ

- 短縮番号による発信は、公衆モード、オフィスモードでご利用いただけます。
- 短縮番号にシークレットデータが設定されている場合は、短縮番号で電話をかけることはできません。

電話帳の内容を編集する

電話帳に登録された電話番号やメールアドレスなどの各項目を修正することができます。

1 修正する電話帳データの詳細を表示する

「電話帳を使って電話をかける」(☞2-31ページ)

2 ✓ ► ◎で編集する項目を選択 ◉ ► 登録内容を編集

「電話帳を新規登録する」(☞2-28ページ)

電話帳の内容を削除する

電話帳のデータは、1件ずつ、または何件かまとめて削除できます。
電話帳のデータをすべて削除するには、暗証番号による認証が必要になります。

1件だけ削除する

1 待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳の一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

2 削除するデータを選択 ► ⌒ 8

削除するデータの内容を確認したいときは、データを選択して ◉ を押し、詳細を表示させてから ⌒（メニュー）を押します。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

選択して削除する

1 待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳の一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

2 ⌒ ⌒ 1 ► 削除するデータを選択 ► ⌒

- **1件ずつ選択するには**

  ◎ で削除する電話帳データを選択し、◉（チェック）を押します。電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。

- **全件選択するには**

  ⌒（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべての電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、⌒（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

選択したデータが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

電話帳のデータをすべて削除すると、シークレットデータも削除されます。

1 待ち受け画面で ◉ 6 7

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

電話帳のデータがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

電話帳のグループ設定を変更する

電話帳のグループ名を変更することができます。また、グループごとに着信音やイルミネーションを設定することもできます。

グループ名を変更する

電話帳のグループ名は、全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

1 待ち受け画面で ◉ 6 3

2 名前を変更するグループの番号を選択 ◉ ► ダイヤルボタンで新しいグループ名を入力 ◉

グループ名が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **文字の入力方法について**

「文字を入力する」（☞2-13ページ）

■グループ名をお買い上げ時の状態に戻す

お買い上げ時には、グループ名は「グループ1」〜「グループ0」に設定されています。

1 待ち受け画面で ◉ 6 3

2 ⌒ 2

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

グループ名が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

グループごとの着信メロディ／着信イルミネーション／バイブを設定する（グループ着信設定）

グループごとに着信メロディ／着信イルミネーション／バイブレータを設定することができます。

1 待ち受け画面で ◉ 6 3

2 ◎ で設定するグループの番号を選択 ► ⌒ 1 ► 1 〜 3 のいずれか

- **1（電話着信）を押したときは**

  電話着信に対する設定になります。

- **2（Eメール着信）を押したときは**

  Eメール着信に対する設定になります。

- **3（ライトメール着信）を押したときは**

  ライトメール着信に対する設定になります。

基本機能 2 電話帳を利用する

3 1 ～ 3 のいずれか

- **1（着信メロディ）を押したときは**
  2（固定サウンド）または 3（データフォルダ）を押し、◎で着信メロディを選択して●を押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「着信メロディを設定する」（☞2-39ページ）で設定した着信メロディとなります。
- **2（着信イルミネーション）を押したときは**
  1 ～ 9 のいずれかを押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「着信ランプを設定する」（☞7-10ページ）で設定した着信イルミネーションとなります。
- **3（バイブ）を押したときは**
  1 ～ 8 のいずれかを押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「バイブレータを設定する」（☞2-42ページ）で設定したバイブレータとなります。

電話帳ロック中の着信表示を設定する

「機能ロック」（☞6-14ページ）で電話帳をロック中に、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときの表示方法を設定できます。

1 待ち受け画面で ● 6 4

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

3 1 または 2

- **1（ON）を押したときは**
  着信中画面に電話帳に登録してある名前が表示されます。
- **2（OFF）を押したときは**
  着信中画面には名前は表示されません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）

電話帳の登録時にシークレット設定を「ON」にしたデータは、電話帳を検索しても表示されません。
シークレットデータを一時的に表示するには、暗証番号による認証が必要になります。

電話帳の検索画面から発信を行ったり、違う画面に表示を切り替えたりすると、シークレットデータは自動的に非表示に戻ります。

1 待ち受け画面で ● 6 5

または、電話帳検索画面で（メニュー）を押し、5（シークレット一時表示）を押します。

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
認証されると電話帳の一覧画面が表示されます。シークレットデータは他と違う色の文字で表示されます。

電話帳の登録件数を確認する（登録件数表示）

電話帳に登録されているデータの総数、およびグループごとの登録件数を表示できます。
シークレット設定されているデータもカウントされます。

1 待ち受け画面で ● 6 6

登録件数表示画面が表示されます。登録件数は「○○○／1000」と表示され、棒グラフでも表示されます（1000は登録可能な最大件数）。

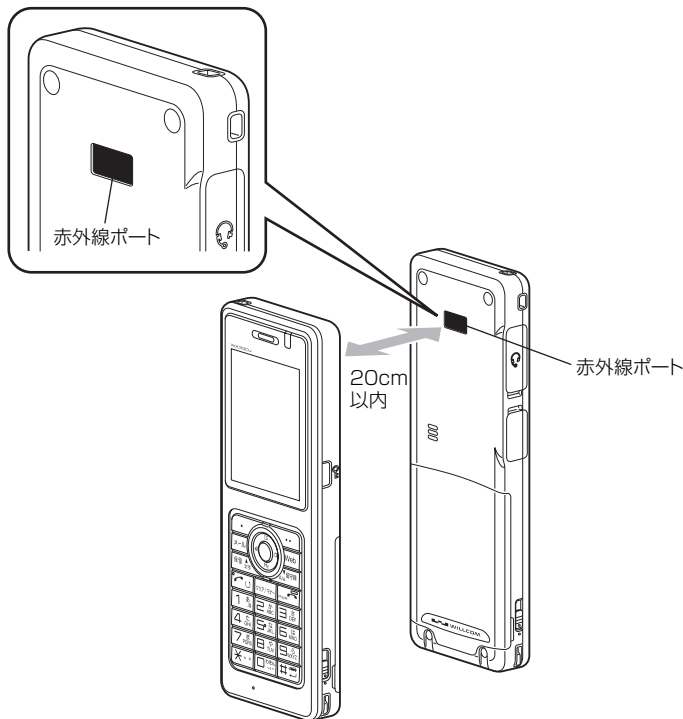
お知らせ

- 電話帳検索画面で（メニュー）を押し、4（登録件数表示）を押しても、電話帳の登録件数を表示できます。

赤外線通信を行う

赤外線通信により、本電話機どうしや赤外線通信機能を搭載した他の電話機との間で電話帳のデータをやり取りすることができます。

赤外線通信の利用のしかた

赤外線通信を行うには、送信側と受信側がそれぞれ準備をする必要があります。通信時は電話機の赤外線ポートどうしを向い合わせ、20cm以内の距離に近づけてください。また、通信が終わるまでは電話機は動かさないでください。

お知らせ

- 直射日光が当たる場所、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 送受信できるデータは、電話帳の1件または全件です。1件の場合、電話帳に設定されている画像（JPEG、GIF、PNG、BMPのみ）もいっしょに送受信されます。
- 電話帳はvCard形式で送信されます。
- 受信できるデータの容量は1.25Mバイトまでです。容量によっては、通信に時間がかかる場合や正しく受信できない場合があります。
- 赤外線通信機能を使った電話帳の転送は、すべての電話機に対して完全な互換性を保証するものではありません。
- 赤外線通信を使ってプロフィールや画像データも送信することができます。
  ・「プロフィールを赤外線通信で送信するには」（☞7-6ページ）
  ・「画像データを赤外線通信で送信する」（☞7-41ページ）

赤外線通信で受信する

本電話機を受信待ちの状態にし、相手から送信される電話帳データを受信します。

1 待ち受け画面で ◉ 7

2 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向ける

送信側から送信が始まると、自動的に受信が始まり、「データ受信中」と表示されます。

3 受信データに応じて操作する

- **「電話帳一件を受信しました 登録しますか？」と表示されたときは**

  1件のデータを受信しました。◎で「Yes」を選択し◉を押してください。受信したデータが電話帳に登録されます。

- **「認証パスワードを入力して下さい」と表示されたときは**

  送信側が電話帳の全件を送信しようとしています。次のように操作してください。
  ① 送信側から指定された4桁の認証パスワードを入力し、◉を押します。
  ② ◎で「Yes」を選択し、◉を押します。
  ③ 1（追加登録）または 2（上書き登録）を押します。
  追加登録では、受信したデータが電話帳の空き領域に登録されます。
  上書き登録では、暗証番号認証（☞6-6ページ）の後、「電話帳を全件削除しますか？」と表示されます。「Yes」を選択して◉を押すと、現在の電話帳のデータはすべて削除され、受信したデータが登録されます。
  登録が終わると、「（登録件数）／（受信件数）件登録しました」と表示されます。

- **「画像データを受信しました 保存しますか？」と表示されたときは**

  ◎で「Yes」または「No」を選択し、◉を押します。
  「No」の場合は操作が終了します。「Yes」の場合は画像データが保存されます。

お知らせ

- 1件の電話帳データまたは画像データを受信した場合、受信データが1.25MBをこえた場合「サイズオーバーです受信できません」と表示され、データは登録されません。
- 電話帳の全件を受信した場合、登録の途中で受信側の電話帳がいっぱいになると「電話帳がいっぱいです」と表示され、以降のデータは登録されません。
- 電話帳の全件を受信した場合、上書き登録時に、先頭のデータはプロフィールに登録されます。追加登録時は電話帳に登録されます。
- 電話帳のグループ名とグループ番号は、電話帳を全件受信して上書き登録した場合のみ登録されます。
- 相手の電話機によっては、受信および送信できないデータもあります。
- 受信した電話帳データに電話番号とメールアドレスの情報がない場合、電話番号として「****」が登録されます。
- 他社の電話機において設定された、絵文字を伴う電話帳データを受信した場合、正しく受信できないことがあります。
- 受信した電話帳データに名前がない場合、フリガナ、電話番号、メールアドレス、受信日時の優先順位で、これらのいずれかが名前として登録されます。
- 受信した電話帳データにフリガナがない場合、電話番号、メールアドレス、受信日時の優先順位で、これらのいずれかがフリガナとして登録されます。

赤外線通信で送信する

本電話機の電話帳データを送信します。

■1件だけ送信する

1 待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳一覧画面が表示されます。◎でも、同じ操作ができます。

2 送信するデータを選択し ► ✉ 7 1

送信するデータの内容を確認したいときは、データを選択して◉を押し、詳細を表示させてから ✉（メニュー）を押します。

3 1 または 2

選択した送信速度でデータを送信します。

- **送信する電話帳に画像データがあるとき**

  「画像データを含めて送信しますか？」と表示されます。画像データを含めて送信したいときは、◎で「Yes」を選択して◉を押します。画像データを含めないで送信したいときは、◎で「No」を選択して◉を押します。

4 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて◉

通常送信の場合は、相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「電話帳一件送信完了」と表示されます。高速送信の場合は、相手を認識しなくてもデータが送信され、送信完了後に「電話帳一件送信完了」と表示されます。

お知らせ

- コピーガード付きの画像データは送信されません。
- 512Kバイト以上の画像データは送信できません。
- 送信後は相手に正しくデータが送られたことを確認してください。

■全件送信する

全件送信の場合、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります（暗証番号とは別のパスワードです）。事前に認証パスワードとして4桁の数字を決め、受信側に伝えておいてください。

1 待ち受け画面で◉ 6 1

電話帳一覧画面が表示されます。Ⓞでも、同じ操作ができます。

2 ↘ 7 2

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）

電話帳に登録されているシークレットデータは、一時的に表示していない限り送信されません。シークレットデータも含めてすべての電話帳データを送信するには、あらかじめシークレットデータを一時的に表示しておく必要があります。「シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）」（☞2-35ページ）

- **シークレットデータを一時表示していないとき**
  「送信しますか？（画像は含まれません）シークレットデータは送信されません」と表示されます。
- **シークレットデータを一時表示しているとき**
  「送信しますか？（画像は含まれません）シークレットデータも送信します」と表示されます。

4 Ⓞで「Yes」を選択◉

- **「No」を選択すると**
  送信を中止し、手順1の電話帳一覧画面へ戻ります。

5 認証パスワードを入力◉ ► 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて◉

相手が認識されると、データが送信され、送信完了後に「電話帳全件送信完了」と表示されます。

お知らせ

- 全件送信の場合は、画像データは送信されません。

音を調整する

受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）

電話先の相手の声を聞くときの受話音量を5段階で設定できます。ここで設定した受話音量は、スピーカに切り替えたときにも反映されます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 2

2 ◎ で受話音量レベルを選択 ◉

受話音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

◎：受話音量レベルが上がります。

◎：受話音量レベルが下がります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「VOL.4」に設定されています。
- 本機能の設定は、電源を切っても変わりません。
- 通話中に受話音量を調節することができます。「受話音量を調節する」（☞2-8ページ）

ひそひそ通話を設定する（ひそひそ通話）

公共の場所などで小さな声でしゃべりたいときに、通話時の音を設定できます。この場合、小さな声で話しても相手には大きく聞こえます。また、相手の声も大きく聞こえます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 3 ► 1（ON）

ひそひそ通話が設定されていると、通話中の画面に「ひそひそ通話中」と表示されます。

- **ひそひそ通話設定を解除するには**

  ひそひそ通話設定時に 2（OFF）を押します。ひそひそ通話が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 通話中に一時的にひそひそ通話設定を切り替えることができます。この場合、通話中に ◉（機能）を押し、通話中機能から 4（ひそひそ通話）を選択します。ひそひそ通話を解除するには、ひそひそ通話中に ◉（機能）を押し、通話中機能から 4（ひそひそ通話解除）を選択します。
- 通話中に一時的にひそひそ通話に切り替えた場合に、通話を終了すると自動的にひそひそ通話は解除されます。
- 本機能を「ON」に設定すると、解除するまで有効です。
- 本機能の設定は、イヤホン装着時の通話でも有効です。

着信音を設定する

着信時の着信メロディ、着信メロディの音量、鳴動時間、バイブレータ、Eメールのバックグランド受信通知について設定します。

着信メロディを設定する

相手から着信したときの着信メロディを設定できます。着信メロディの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信メロディの設定方法を例にしています。

着信メロディは、固定サウンド、データフォルダに保存されているサウンドデータ、または「公式サイトから探す」から選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1 1

2 1 1 ► 1 ～ 3 のいずれか

- **1（固定サウンド）を押すと**

  固定サウンドの中から着信メロディを選択します。

- **2（データフォルダ）を押すと**

  データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、着信メロディを選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

- **3（公式サイトから探す）を押すと**

  Webページからサウンドデータをダウンロードして着信メロディとして設定できます。「Webページからダウンロードしたサウンドデータを着信メロディに設定する」（☞2-40ページ）

● メロディを聞くには
(上下キー)でメロディを選択して(ソフトキー)（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、(留守録キー)で次のメロディ、(保留キー)で前のメロディを再生します。再生を終了するには、(ソフトキー)（停止）または(クリア/マナーキー)を押します。(決定キー)を押すと、再生中のメロディが着信メロディとして設定されます。

● 音量を調節するには
メロディ再生中に、(上下キー)で音量の調節ができます。

● 着信時の動作を確認するには
(メールキー)（リハーサル）を押すと、本電話機が現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、(留守録キー)で次のメロディ、(保留キー)で前のメロディを再生します。(決定キー)を押すと、その時点で再生中のメロディが設定されます。再生を終了するには、(ソフトキー)（停止）を押します。

3　(上下キー)で着信メロディを選択(決定キー)

着信メロディが設定され、「設定しました」と表示されます。

Webページからダウンロードしたサウンドデータを着信メロディに設定する

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスしてサウンドデータをダウンロードし、着信メロディとして設定できます。

1　待ち受け画面で(決定キー)[5][1][1]

2　[1][1][3]

「ダウンロード後に設定変更を行ってください」と表示され、(決定キー)（OK）を押すとWebページが表示されます。
Webページの画面に従って、サウンドデータをダウンロードしてください。
「ファイルをダウンロードする」(☞4-18ページ)
ダウンロードしたサウンドデータは、データフォルダに保存されます。

3　着信メロディを選択する

[2]（データフォルダ）を押し、(上下キー)でダウンロードしたサウンドデータを選択し、(決定キー)を押します。
着信メロディが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 管理者ロックで「Web制限」がONに表示されている場合、[3]（公式サイトから探す）を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、[3]（公式サイトから探す）を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、[3]（公式サイトから探す）を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除します。よろしいですか？」と表示されます。(上下キー)で「Yes」を選択し、(決定キー)を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、[3]（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、[3]（公式サイトから探す）を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、[3]（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、待ち受け画面から[Web][8][4]を押して表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

■固定サウンド一覧

種別	サウンド名
メロディ	グリーンスリーブス 水族館 美しく青きドナウ ラグタイム・ダンス ４羽の白鳥の踊り アンダンテ・カンタービレ 一週間 バラード第２番 ジングル１ ジングル２ ジングル３ ジングル４ ジングル５ ジングル６ ジングル７ ジングル８
アラーム	アラーム１ アラーム２
音声	「お電話です。」 「メールがきています。」 「間もなくお時間です。」 「お早うございます。」
Beep音	パターン１ パターン２ パターン３ パターン４ パターン５ パターン６ パターン７ パターン８ パターン９ パターン10

■お買い上げ時の設定値

機能	着信メロディ	鳴動時間	音量	バイブレータ	バックグランド受信通知
公衆着信	パターン１	−	音量３	OFF	−
Eメール着信	ジングル１	10秒			ON
ライトメール着信	ジングル２	10秒			−
オフィス外線着信	パターン４	−			−
オフィス内線着信	パターン６	−			−
オフィス専用線着信	パターン10	−			−

着信音量を設定する

着信音量を調節できます。着信音量の設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信音量の設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で [●] [5] [1] [1]

2　[1] [2]

3　[上下] で着信音量のレベルを選択 [●]

着信音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

[上]：着信音量レベルが上がります。

[下]：着信音量レベルが下がります。

STEP ▲：着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。

STEP ▼：着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

● **着信音量を確認するには**

[ソフトキー]（再生）を押すと、現在選択している着信音量レベルが確認できます。確認を終了するには、[ソフトキー]（停止）を押します。

● **着信時の動作を確認するには**

[ソフトキー]（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。再生を終了するには、[ソフトキー]（停止）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「VOL.3」に設定されています。

バイブレータを設定する

相手から着信したとき、音を鳴らさずにバイブレータでお知らせするように設定できます。バイブレータの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時のバイブレータの設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で [●] [5] [1] [1]

2　[1] [3]

バイブレータには6つのパターンがあります。[上下] でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

3　[1] ～ [7] のいずれか

バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

● **[6]（バイブ後サウンド鳴動）を押すと**

着信時にバイブレータが振動し、約10秒後に着信音も鳴り出します。この場合、着信音は現在設定されている着信メロディです。「着信メロディを設定する」(☞2-39ページ)

● **バイブレータを解除するには**

バイブレータ設定時に [7]（OFF）を押します。

● **着信時の動作を確認するには**

[ソフトキー]（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、[留守録] で次のバイブレータ、[保留] で前のバイブレータのパターンが変更できます。[●] を押すと、その時点でのパターンが設定されます。再生を終了するには、[ソフトキー]（停止）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メール着信時の鳴動時間を設定する

Eメールとライトメールを受信したときの鳴動時間を、1秒～60秒までで設定できます。以下はEメール着信時の鳴動時間の設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で [●] [5] [1] [1]

2　[2] [4]

3　[0] ～ [9] で鳴動時間を入力 [●]

メール着信時の鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **鳴動時間の入力について**

1秒～60秒まで入力できます。
[左右] で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

Eメールのバックグランド受信通知を設定する（バックグランド受信通知）

Eメール以外の機能の使用時にEメールを受信したとき、Eメール着信音やメッセージで通知するかどうかを設定します。

1　待ち受け画面で ◉ 5 1 1

2　2 5 ► 1 または 2

バックグランド受信通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

- **1（ON）を押すと**

  バックグランドでEメールを受信した場合に受信通知を行います。

- **2（OFF）を押すと**

  バックグランドでEメールを受信した場合に受信通知を行いません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

マナーモードを設定する

公共の場所などで音を鳴らしたくないときに、マナーモードを設定できます。また、マナーモードの内容はお好みで設定できます。

マナーモードにする

1　待ち受け画面で クリア/マナー を約1秒以上押す

本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」「 」「 」が表示されます。

- **マナーモードを解除するには**

  マナーモード設定時に、待ち受け画面で クリア/マナー を約1秒以上押すと、マナーモードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「マナーモード」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時の状態で「マナーモード」を設定すると、「バイブ」は「ON」に、「電話着信音量」「メール着信音量」「目覚まし音量」「スケジュール音量」「効果音」「留守録音」は「OFF」に設定されます。それぞれの機能設定画面で違う設定にしていても、「マナーモード」の設定が優先されます。
- 「オートサイレント」が設定されているときには、本機能を設定することはできません。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞2-44ページ）

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「バイブレータ」、「電話着信音量」、「メール着信音量」、「目覚まし音量」、「スケジュール音量」、「効果音（キー確認音、成功／エラー音、圏外／充電警告音、送達確認音）」、および「留守録音」の設定内容を変更できます。

■「バイブ」「効果音」のマナーモードの設定内容を変更する

1　待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2　1 ► 1 または 6

3　1 または 2 ► ・／

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

- **1（ON）を押すと**

  「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象とします。

- **2（OFF）を押すと**

  「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象外とします。

お知らせ

- バイブレータの動作は、「電話着信」、「メール着信」、「目覚まし」、および「スケジュール」のそれぞれで動作パターンが異なります。

■「電話着信音量」「メール着信音量」「目覚まし音量」「スケジュール音量」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモードに設定したときでも、お好みの音量で音を鳴らすことができます。

1　待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2　1 ► 2 ～ 5 のいずれか

3　◎ で着信音量のレベルを選択 ◉ ► ・／

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

◎：着信音量レベルが上がります。
◎：着信音量レベルが下がります。
STEP ▲：着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。
STEP ▼：着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

- **それぞれの音量を確認するには**
  （再生）を押すと、現在選択している音量レベルが確認できます。確認を終了するには、（停止）を押します。

■「留守録音」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「留守録音」の動作を設定します。この機能が設定されている場合（「ON」の場合）は、待ち受け画面に「」が表示されます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2 1 7

**3 1 または 2 ► **

設定が登録され、「設定しました」と表示されます。

- **1（ON）を押すと**
  応答時間設定画面が表示されます。応答時間を 0 ～ 9 で入力し、◉ を押します。
- **2（OFF）を押すと**
  「留守録音設定」をマナーモードの対象外とします。
- **留守録音の設定方法について**
  「留守録音を設定する」（☞2-48ページ）

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）

指定した時間帯に、着信音を自動的に鳴らさないように設定できます。オートサイレントを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」（☞1-21ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1

2 2 ► 1 ～ 4 のいずれか

- **1（ON（毎日））を押すと**
  毎日、同じ時間帯にオートサイレントを有効にします。
- **2（ON（一度きり））を押すと**
  1度だけオートサイレントを有効にします。
- **3（ON（曜日指定））を押すと**
  曜日の一覧が表示されるので、オートサイレントを有効にしたい曜日を ◎ で選択し、◉（選択）を押してチェックを付けます。曜日を選択したら、（完了）を押します。
- **4（OFF）を押すと**
  オートサイレントが解除され、「解除しました」と表示されます。

3 0 ～ 9 で開始時刻を入力 ◉ ► 0 ～ 9 で終了時刻を入力 ◉

オートサイレントが設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、その時刻になるとオートサイレントが有効になり、待ち受け画面に「」が表示されます。

- **入力する箇所を選ぶには**
  ◎ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。
- **「終日」に設定するには**
  （終日）を押します。

お知らせ

- 「オートサイレント」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 23:00 ～ 04:00のように、日をまたがる設定もできます。
- 「ON（一度きり）」を設定していた場合、その設定時刻を過ぎたときは、自動的に「OFF」に設定されます。
- 本機能が設定されているときに、音や着信メロディの設定で再生をしようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して ◉ を押すと、再生を開始します。
- 音量調節などで音を鳴らしているときに本機能の設定時刻になっても、再生音は停止しません。

安全運転モードを設定する

車の運転中や電車の中で電話に出られないときに「安全運転モード」に設定しておくと便利です。電話がかかってきても、着信音やバイブレータ、バックライトなどは動作せず、応答メッセージが相手に流れます。
安全運転モードには、本電話機から電話に出られないことをお伝えする「電話機応答」と、ウィルコムのネットワークから電話に出られないことをお伝えする「ネットワーク応答留守電サービス」および「ネットワーク応答」の3つのモードがあります。「ネットワーク応答留守電サービス」や「ネットワーク応答」を利用するには、ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただく必要があります。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞7-57ページ）

安全運転モードにする

1 待ち受け画面で # を約1秒以上押す

お買い上げ時の設定では、安全運転モードが設定され、「電話機応答に設定しました」と表示されます。

本機能を設定すると、待ち受け画面に「🚗」が表示されます。

● **安全運転モードを解除するには**

待ち受け画面で [#] を約1秒以上押すと、安全運転モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

安全運転モードの設定内容を変更する

1 待ち受け画面で ◉ [5] [5] [7]

2 [1] ～ [3] のいずれか

● **[1]（ネットワーク応答留守電サービス）を押すと**

運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流し、ウィルコムの留守番電話センターに相手のメッセージを録音します。
相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に「センター留守電あり」と表示され、「▣」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

● **[2]（ネットワーク応答）を押すと**

運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流します。この場合、相手のメッセージは録音されません。待ち受け画面に着信件数が表示され、「▣」が表示されます。この表示は、着信履歴を確認するまで表示されます。

● **[3]（電話機応答）を押すと**

「ただいま移動中のため、電話に出られません。ピーッとなりましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージを流し、データフォルダに相手のメッセージを録音します。1件につき最大60秒間のメッセージが録音できます。メッセージの保存先は「留守録音を設定する」で設定した場所と同じです。「留守録音を設定／解除する」（☞2-48ページ）
相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「電話機応答」に設定されています。
- 「電話機応答」設定時、相手がメッセージを録音している途中で、[PWR] を押すと録音は中止されます。この場合、途中までのメッセージが保存されます。
- 「ネットワーク応答留守電サービス」または「電話機応答」設定時、相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。

お知らせ

- 「電話機応答」設定時、応答メッセージを流しているときや録音中は、相手からの音声を受話口（レシーバ）で聞くことができます。
- 「電話機応答」設定時、データフォルダの容量が一杯の場合には、メッセージを流した後、通話が終了します。

キー確認音を設定する（効果音）

ボタンを押したときに、キー確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [1]

2 [2] [1] ► [1] ～ [5] のいずれか

キー確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **キー確認音を確認するには**

キー確認音には4つのパターンがあります。キー確認音画面で ◎ でパターンを選択すると、それぞれのキー確認音が確認できます。

● **キー確認音を解除するには**

キー確認音設定時に [5]（OFF）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターンA」に設定されています。
- キー確認音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。キー確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていればキー確認音は鳴ります。
- キー確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。キー確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中はキー確認音は鳴りません。
- キー確認音を「ON」にしても、イヤホン装着時は試聴時を含めキー確認音は鳴りません。

成功／エラー音を設定する（効果音）

各機能を設定したときに、成功音およびエラー音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ [5] [1]

2 [2] [2] ► [1] または [2]

成功／エラー音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **[1]（ON）を押すと**

成功／エラー音を設定します。

● 2（OFF）を押すと
成功／エラー音を解除します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 成功/エラー音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。成功/エラー音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていれば成功/エラー音は鳴ります。
- 成功/エラー音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。成功/エラー音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は成功/エラー音は鳴りません。

圏外／充電警告音を設定する（効果音）

通話中、電波が届かなくなり「圏外」が表示されるとき、または電池の充電が必要となり「 」が表示されるときに、圏外警告音および充電警告音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 2 3 ► 1 または 2

圏外／充電警告音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 1（ON）を押すと
圏外／充電警告音を設定します。

● 2（OFF）を押すと
圏外／充電警告音を解除します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 圏外/充電警告音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。圏外/充電警告音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていれば圏外/充電警告音は鳴ります。
- 圏外/充電警告音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。圏外/充電警告音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は圏外/充電警告音は鳴りません。

送達確認音を設定する（効果音）

ライトメールを送信したときに、送達確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 2 4 ► 1 または 2

送信確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 1（ON）を押すと
送信確認音を設定します。

● 2（OFF）を押すと
送信確認音を解除します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 送達確認音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。送達確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音設定」が「ON」になっていれば送達確認音は鳴ります。
- 送達確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。送達確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は送達確認音は鳴りません。

保留音を設定する

保留音の種類を選択できます。保留音は、固定サウンド、データフォルダに保存されているサウンドデータ、または「公式サイトから探す」から選択できます。
保留音として設定できる固定サウンドは、着信音と同じです。「固定サウンド一覧」（☞2-41ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 3 ► 1 ～ 3 のいずれか

● 1（固定サウンド）を押すと
固定サウンドの中から保留音を選択します。

● 2（データフォルダ）を押すと
データフォルダの中に保存されている「全データ表示」「サウンド」「録音」から、保留音を選択します。データフォルダにこれらのデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

● 3（公式サイトから探す）を押すと
Webページからサウンドデータをダウンロードして保留音として設定できます。
「Webページからダウンロードしたサウンドデータを保留音に設定する」（☞2-47ページ）

● メロディを聞くには
◎ でメロディを選択して （再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、 で次のメロディ、 で前のメロディを再生します。再生を終了するには、 （停止）または を押します。

● **音量を調節するには**
メロディ再生中に、◎で音量の調節ができます。

3 ◎で保留音を選択 ◉
保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時には､｢固定サウンド｣の｢グリーンスリーブス」に設定されています。
- イヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

Webページからダウンロードしたサウンドデータを保留音に設定する

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスしてサウンドデータをダウンロードし、保留音として設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 1

2 3 3
「ダウンロード後に設定変更を行ってください」と表示され、◉（OK）を押すとWebページが表示されます。
Webページの画面に従って、サウンドデータをダウンロードしてください。
「ファイルをダウンロードする」（☞4-18ページ）
ダウンロードしたサウンドデータは、データフォルダに保存されます。

3 保留音を選択する
2（データフォルダ）を押し、◎でダウンロードしたサウンドデータを選択し、◉を押します。
保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- 管理者ロックで「Web制限」がONに表示されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除します。よろしいですか？」と表示されます。◎で「Yes」を選択し、◉を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」（☞6-6ページ）
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、3（公式サイトから探す）を選択すると、「ネットワークが利用できません」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、待ち受け画面で Web 8 4 を押して表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）

電話をかけた相手が応答したとき、バイブレータが約0.5秒振動してそのことをお知らせするかどうかを選択できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 7

2 4 ► 1 または 2
発信先応答通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **1（ON）を押すと**
発信先応答通知を設定します。

● **2（OFF）を押すと**
発信先応答通知を解除します。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

留守録音を設定する

「留守録音」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。
電話がかかってくると、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音できます。
相手のメッセージは、1件につき約3秒～60秒間録音できます。
相手のメッセージは、データ保存容量の範囲内で何件でも保存できます。

留守録音を設定／解除する

1 待ち受け画面で ◉ 5 5

2 4 ► 1 または 2

● **1（ON）を押すと**
応答メッセージを流し、相手のメッセージをデータフォルダに保存します。

● **2（OFF）を押すと**
留守録音設定を解除します。

3 0 ～ 9 で応答時間を入力 ◉

留守録音が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「留守録音設定」は「OFF」に設定されています。
- お買い上げ時には、「応答時間設定」は「10秒」に設定されています。
- 待ち受け画面で を約1秒以上押すことでも、留守録音を設定／解除できます。
- 応答メッセージを流しているときや留守録音中は、相手からの音声をレシーバで聞くことができます。
- 応答メッセージの再生中に または ◉（通話）を押すと、通話状態となり相手と話すことができます。
- 「留守録音設定」を設定していなくても、着信中に ◉（留守録）を押すと、留守録音に切り替わります。
- 通話中に相手の声を録音することもできます。「通話を録音する（通話録音）」（☞2-8ページ）
- 相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。
- 保存先の空き容量が足りなくなると、保存できなくなります。不要なデータは削除してください。「録音されたメッセージを削除する」（☞2-49ページ）、「データを削除する」（☞7-49ページ）
- 「留守録音設定」は、国際ローミングでも同様に動作します。

録音されたメッセージを再生／削除する

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、 を押すか、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

留守録音から再生する

1 待ち受け画面で ◉ 5 5 5

：再生されていない録音メッセージ
：再生済みの録音メッセージ

● **待ち受け画面に「留守録音　○○件」と表示されているときは**
まだ再生していない留守録音メッセージがあります。この場合は、◉ を押すと最新の留守録音メッセージが再生されます。

2 で再生したい録音メッセージを選択 ◉ ► ◉

選択された録音メッセージを再生します。再生が完了すると、再生完了音が鳴ります。◉ または を押すまで、同じメッセージの再生を繰り返します。

● **スピーカから音を聞くには**
再生中に （スピーカ）を押します。レシーバに切り替えるには （レシーバ）を押します。

● **再生を終了するには**
再生中に を押します。
◉ を押すと一時停止します。

● **再生中の録音メッセージを削除するには**
再生中に （削除）を押すと、「削除しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して ◉ を押すと、「削除しました」と表示されます。フォルダ内に録音メッセージがある場合は、次の録音メッセージを再生します。録音メッセージが1件もない場合には、元の画面に戻ります。

● **音量を調節するには**
再生中に、◎で音量を調節します。
◎：再生音量レベルが上がります。
◎：再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 録音メッセージの一覧には、着信時間の新しい順に録音メッセージが表示されます。録音メッセージをソートして、表示順序を変えることができます。「データを並べ替える」(☞7-47ページ)
- 再生中に、[保留]で前の、[留守録]で次の録音メッセージを再生します。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音メッセージを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を2回押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている発信者の場合は、留守録音のデータ名は「ユーザ非通知」になります。登録名を一時的に表示するには、[メニュー]（メニュー）を押し、サブメニューで[8]（シークレット一時表示）を押します。暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。
- ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただくと、ネットワーク経由で留守番電話機能をご利用いただけます。「留守番電話サービスを利用する（有料）」(☞7-57ページ)

着信履歴から再生する

留守録音メッセージは、着信履歴から再生することもできます。

1　待ち受け画面で◎[メニュー][6]

2　◎で履歴を選択◉ ► ◉

留守録音メッセージが再生されます。

録音されたメッセージを削除する

1　待ち受け画面で◉[5][5][5]

2　◎で削除する録音メッセージを選択

3　[メニュー][メニュー] ► [1]～[3]のいずれか

● **[1]（一件削除）を押すと**
選択した録音メッセージ1件だけを削除します。

● **[2]（選択削除）を押すと**
録音メッセージ選択画面が表示されるので、◎で削除する録音メッセージを選択して◉（チェック）を押します。録音メッセージの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、[メニュー][1]（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、[メニュー][2]（全件解除）を押します。
削除するメッセージの選択を終えたら[・]（削除）を押します。

● **[3]（全件削除）を押すと**
留守録音の全メッセージを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」(☞6-6ページ)

4　◎で「Yes」を選択◉

録音メッセージが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 録音メッセージの一覧には、着信時間の新しい順に録音メッセージが表示されます。録音メッセージをソートして、表示順序を変えることができます。「データを並べ替える」(☞7-47ページ)
- 「削除中」のメッセージが表示されているときに[PWR]を押すと、その時点までのデータを削除し、処理を中断します。
- 削除対象の録音メッセージの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して◉を押すと、設定データも含め選択したすべての録音メッセージが削除されます。「No」を選択して◉を押すと、元の画面に戻ります。

マイメニューを利用する

よく利用するメニューやブックマークを「マイメニュー」に登録すると、操作が簡単に行えるようになります。

マイメニューに登録する

メニューやブックマークを最大12件までマイメニューに登録することができます。「マイメニューにブックマークを登録する」（☞4-10ページ）
以下は、機能ロックをマイメニューに登録する設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で ◎ ► 登録する番号を選択 ► □

● **登録済みの番号を選択して □ を押すと**
「上書きしますか？」と表示されます。上書きして良いときは、◎ で「Yes」を選択して ◉ を押します。

2 登録する機能をメインメニューから選択する

ここでは機能ロックを登録するので、9（セキュリティ）を押し、6（機能ロック）を押します。
マイメニューに機能が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「マイメニュー」には、「オンラインサインアップ」、「公式サイト」および「Java™アプリ」が登録されています。
- 同じ機能を複数登録することができます。
- 待ち受け画面から ◉ 8 6 でもマイメニューを表示することができます。

マイメニューから操作する

マイメニューに登録したメニューやブックマークを操作します。

1 待ち受け画面で ◎ を押す

2 呼び出す機能の番号をダイヤルボタンで押す

機能メニューを選択すると、選択したメニューの画面が表示されます。
ブックマークを選択すると、ブックマークのURLに接続を開始します。

マイメニューから削除する

登録されているメニューやブックマークを削除します。

1件だけ削除する

1 待ち受け画面で ◎ ► ◎ で削除するメニューを選択 □ ► 1

「削除しますか？」と表示されます。

2 ◎ で「Yes」を選択 ◉

マイメニューが1件削除され、「削除しました」とメッセージが表示されます。

選択して削除する

1 待ち受け画面で ◎ ► □ 2

2 削除するメニューを選択 ► □

● **1件ずつ選択するには**
◎ で削除するメニューを選択し、◉（チェック）を押します。メニューの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。

● **全件選択するには**
□（メニュー）を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべてのメニューの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、□（メニュー）を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

3 ◎ で「Yes」を選択 ◉

マイメニューが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 待ち受け画面で ◎ ► □ 3

2 ◎ で「Yes」を選択 ◉

マイメニューが全件削除され、「削除しました」と表示されます。